

令和6年度（2024年度）
熊本連携中枢都市圏アライグマ生息状況調査
業務委託

報告書

令和7年3月

株式会社 地域環境計画 九州支社

目 次

1. 業務概要	1
1.1 業務名	1
1.2 業務目的.....	1
1.3 履行期間.....	1
1.4 履行場所.....	1
2. 業務内容	2
2.1 フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置.....	2
3. 調査結果	6
3.1 調査実施状況	6
3.2 アライグマ確認概況.....	25
3.3 熊本市	31
3.4 宇土市	32
3.5 宇城市	33
3.6 玉東町	34
3.7 その他の確認種.....	35
3.8 相談対応.....	36
4. 考察	37
4.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況整理	37
4.2 今後のアライグマ対策	44
5. 打合せ及び報告	45

資料編

資料 1. 写真票

資料 2. 地点別確認種一覧

資料 3. 打ち合わせ記録簿

1. 業務概要

1.1 業務名

令和 6 年度（2024 年度）熊本連携中枢都市圏アライグマ生息状況調査業務委託

1.2 業務目的

熊本県内におけるアライグマは、平成 22 年に熊本市南区で初めて確認されて以降、徐々に県内で生息を拡大しており、増加傾向にある。熊本市に隣接する周辺地域での確認情報も増加しており、生息数の増加や生息域の拡大が示唆される。今後は甚大な被害（農業被害・生活被害・生態系被害）が発生するおそれがあることから、生息状況を的確に把握し、対策を講じることが重要である。

本業務は、熊本連携中枢都市圏構成市町村のうち、3 市 1 町を対象にフィールドサイン調査及び自動撮影カメラ設置を実施し、アライグマについて広域的に生息状況及び被害状況を把握し、侵入監視を行うことにより、アライグマの防除対策に資することを目的とした。

1.3 履行期間

令和 6 年（2024 年）5 月 17 日より令和 7 年（2025 年）3 月 31 日まで

1.4 履行場所

熊本市、宇土市、宇城市、玉東町（図 1-1 参照）

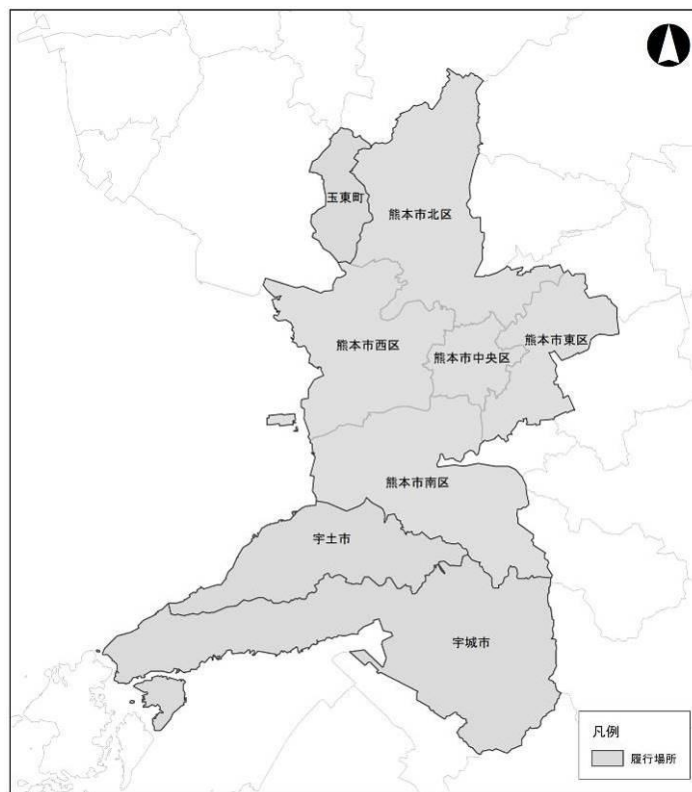


図 1-1 履行場所

2. 業務内容

2.1 フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置

アライグマの生息の可能性がある箇所においてフィールドサイン（足跡・爪跡・糞・食痕等）調査及び自動撮影カメラ（以下、「カメラ」とする）設置による生息状況調査を実施した。

フィールドサイン調査、カメラの設置台数、カメラ設置期間は以下のとおり。

- ・熊本市：フィールドサイン調査 11 人日以上、カメラの設置台数 25 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・宇土市：フィールドサイン調査 10 人日以上、カメラの設置台数 20 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・宇城市：フィールドサイン調査 11 人日以上、カメラの設置台数 25 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・玉東町：フィールドサイン調査 5 人日以上、カメラの設置台数 10 台以上、カメラ設置期間 150 日以上

調査箇所の選定及び調査手法については、委託者又は履行場所市町担当者と協議し、その指示に従うとともに、有識者（森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏）へヒアリングを実施し、意見を伺った。ヒアリング概要を以下に示し、詳細は資料編に示す。

調査に用いるカメラ及び必要な機材等は受託者が準備し、設置にあたっては設置箇所の所有者もしくは管理者に了承を得た。また、カメラを設置する際は、調査目的等を明示し、誘引剤をカメラの近くに設置した。

森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏からの助言

- ・熊本市は、頻繁に撮影されているカメラは残しつつ、市内中央部の東区や緑川沿いなどに設置すると良いだろう。東区は託麻三山付近、市内中心部では京町台地の緑地帯や万日山、独鈷山付近、熊本城内の熊本博物館周辺などが良いだろう。南区は生息場所を見つける必要がある。
- ・モニタリングは、市の土地を活用することも良いだろう。浄化センターや焼却場、動物園、公民館、小中学校など。他部局との連携を見越して進めることが必要であろう。
- ・宇土市、宇城市は情報が少ない。クリハラリス確認用のカメラでもほとんど撮影がされていない。市担当者と連携して情報を収集しつつ、進めることが良いだろう。
- ・寺社は管理している組織や団体がいる。そうした団体に協力を求め、糞尿被害や爪痕などの情報収集を行うことも有効である。
- ・よく捕獲されている場所については、カメラ調査を実施していなくても継続的にわなを設置することが良いだろう。
- ・巣箱型ワナは見回りのしにくい、アプローチが大変な場所に設置するのが良いだろう。巣箱型ワナの効果を検証するのであれば、確実に捕獲に結びつく場所が良い。通常の箱わなの近くや、箱わなの横において効果検証を行うことも良いのではないか。
- ・国が熊本県を含む九州 3 県（熊本、宮崎、鹿児島）での防除戦略策定を進めている。その中で一級河川での調査を進めるよう提言している。国交省の地方整備局を中心に進むことが期待される。
- ・福岡県では「福岡県アライグマ防除実施計画」が策定されている。HP で公開されているため、一度目を通しておくと良いだろう。

(1) 確認状況の整理

熊本県内におけるアライグマの確認状況を整理し、調査実施箇所の検討を行った。

業務開始時における熊本県内でのアライグマ確認数を表 2-1 に、履行場所 3 市 1 町における確認状況を表 2-2 に示す。

表 2-1 熊本県内におけるアライグマの確認状況

(令和 5 年 7 月 27 日時点)

市町	確認年度														
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 -R1	R2	R3	R4	R5	合計
荒尾市				1											1
南関町								2	2				1	1	6
和水町									3		1	2			6
玉名市					1		1	1	11	13				4	31
山鹿市						1	3	1	5	3	6	5	1	2	27
菊池市					1				2		7	9	3	7	29
玉東町									10	2	3	18	19	10	62
熊本市	1							3	9	19	44	32	78	91	277
大津町									1						1
菊陽町											1				1
益城町							1				1				2
御船町		1	1												2
甲佐町											1				1
宇土市									1				5		6
宇城市						1		2			1	5	4	1	14
氷川町												2			2
小国町					4										4
南小国町														1	1
高森町						1				1					2
産山村														1	1
阿蘇市													4		4
南阿蘇村												1	1		2
山都町								1							1
芦北町											1				1
津奈木町														1	1
水俣市											1		1		2
天草市									1						1
総計	1	1	1	1	6	3	5	10	45	38	67	74	117	119	488

※塗りつぶし箇所は本業務における履行場所

※熊本県ホームページのデータをもとに作成

表 2-2 履行場所 3 市 1 町におけるアライグマの確認状況

市町	確認場所
熊本市	〈北 区〉植木町（山本、平原、豊岡、鈴麦、清水、富応、轟、岩、那知） 和泉町、立福寺町、貢町、高平 2 丁目 〈西 区〉河内町（河内、岳、船津）、西松尾町、花園町 〈中央区〉島崎、本荘、上通町 〈東 区〉下江津 〈南 区〉城南町（阿高、鰐瀬、陣内、藤山、丹生宮）、富合町平原、日吉、野田
宇土市	岩古曾町、下網田、花園町、松山町、赤瀬町、網引町
宇城市	松橋町（竹崎、曲野）、三角町（大田尾、中村、波多）、 豊野町（糸石、下郷）、不知火町（高良）
玉東町	上木葉、浦田、上白木、白木、稲佐、西安寺、二俣

（２）調査箇所の選定

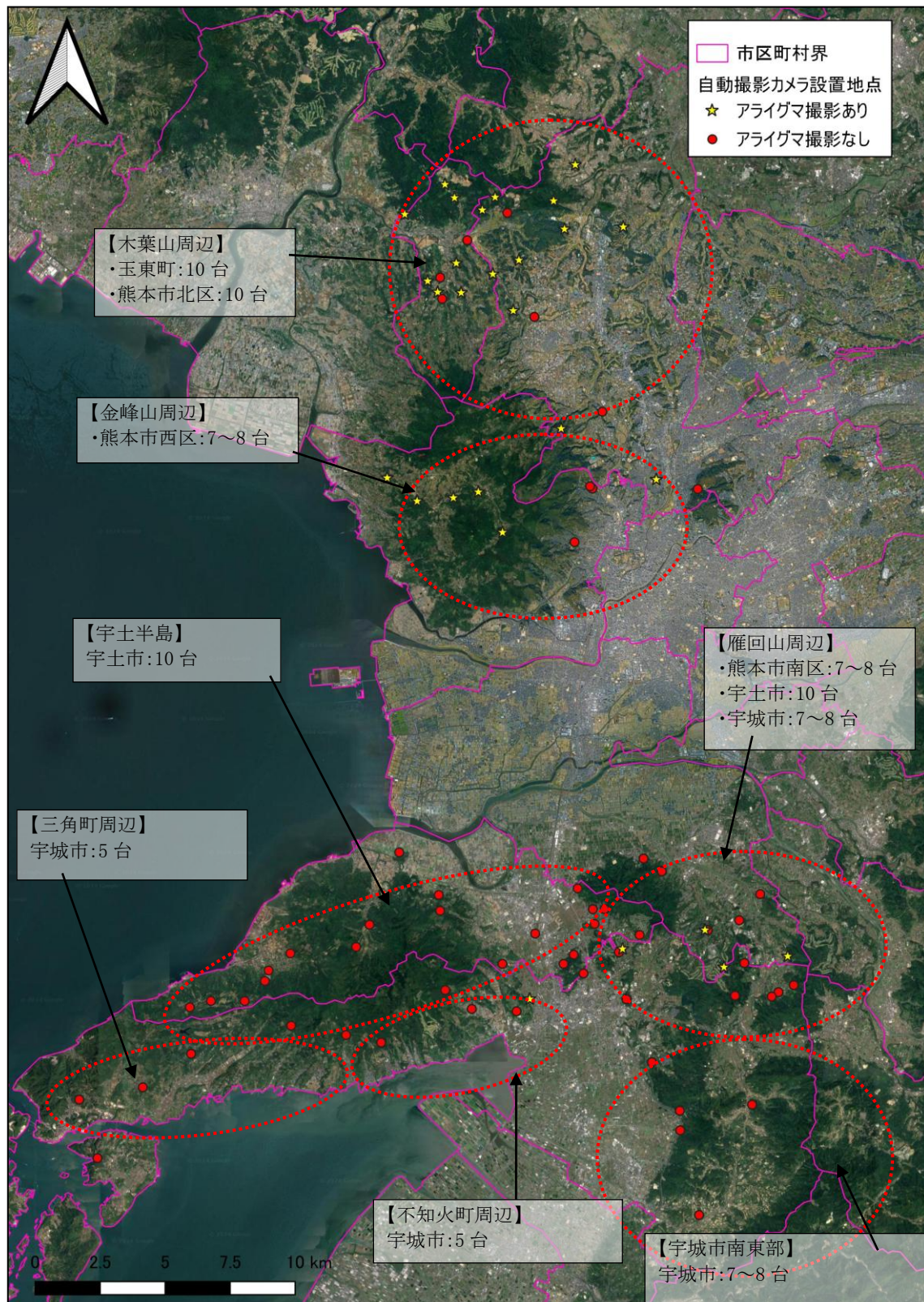
これまでの確認状況を考慮し、選定した調査実施エリア案を表 2.3 及び図 2.1 に示す。

選定した調査箇所において、移動経路となることが想定される河川等の水域、餌場としての利用が想定される果樹園や耕作地、湿地、ため池等の環境、ねぐら等の利用が想定される樹林地といった多様な環境が複合的に存在する箇所に着目して、調査を実施した。

なお、周辺市町を含め、新たな確認や目撃等の確度の高い情報が得られた場合は、調査実施エリアを柔軟に変更し、状況に応じてカメラ設置台数も検討した。

表 2-3 調査実施エリア

調査実施エリア	カメラ設置台数（予定）
木葉山周辺	玉東町：10 台 熊本市（北区）：10 台
金峰山周辺	熊本市（西区）：7～8 台
雁回山周辺	熊本市（南区）：7～8 台 宇土市：10 台 宇城市：7～8 台
宇土半島	宇土市：10 台 宇城市（不知火町周辺）：5 台 宇城市（三角町周辺）：5 台
宇城市南東部	宇城市：7～8 台
その他	適宜設置



3. 調査結果

3.1 調査実施状況

フィールドサイン調査の実施状況を表 3-1 に、自動撮影カメラの設置状況を表 3-2～表 3-5 に示す。

なお、表 3-2～表 3-5 における設置日数は、令和 7 年 3 月 18 日時点の経過日数を示す。

表 3-1 調査実施日

市町	調査実施日	延べ調査 人工数
熊本市	7/2, 7/9, 7/26, 8/2, 9/3, 9/11, 9/12, 10/3, 10/4, 10/11, 11/20, 11/27, 12/25	13 人日
宇土市	9/3, 9/13, 9/14, 10/9, 10/10, 10/11, 11/18, 11/19, 11/26, 12/16, 1/14	11 人日
宇城市	8/19, 9/13, 9/14, 10/9, 10/10, 10/11, 10/16, 11/18, 11/26, 12/16, 1/14	11 人日
玉東町	9/6, 9/11, 9/26, 11/5, 1/10	5 人日

表 3-2 自動撮影カメラ設置状況（熊本市）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
植木 01	32.931372	130.647644	R6/7/9	R7/3/18	252	
植木 02	32.927528	130.645103	R6/7/9	R7/3/18	252	
植木 05	32.929896	130.672458	R6/7/9	R7/3/18	252	
植木 06	32.920325	130.676972	R6/7/9	R6/9/6	59	植木 06-2 へ移設
植木 06-2	32.919692	130.675078	R6/9/6	R7/3/18	193	植木 06 から移設
植木 08	32.909403	130.658358	R6/7/9	R7/3/18	252	
北 01	32.908026	130.711511	R6/10/4	R7/3/18	165	
北 02	32.90468	130.70493	R6/10/11	R7/3/18	158	
北 04	32.879089	130.718699	R6/10/4	R7/3/18	165	
北 05	32.86365	130.71418	R6/10/4	R7/3/18	165	
北 06	32.856579	130.704266	R6/10/11	R7/3/18	158	
北 07	32.852187	130.704576	R6/10/11	R6/11/27	47	北 10 へ移設
北 08	32.845965	130.709058	R6/10/11	R7/3/18	158	
北 09	32.851461	130.675539	R6/10/4	R7/3/18	165	
北 10	32.821417	130.731197	R6/11/27	R7/3/18	111	北 07 から移設
河内 01	32.834483	130.604297	R6/7/26	R7/3/18	235	
河内 02	32.826486	130.616572	R6/7/26	R7/3/18	235	
河内 03	32.827408	130.631669	R6/7/26	R7/3/18	235	
河内 04	32.829622	130.641631	R6/7/26	R7/3/18	235	
河内 05	32.815547	130.651486	R6/7/26	R7/3/18	235	
東 01	32.845213	130.780269	R6/10/11	R7/3/18	158	
南 01	32.697971	130.689562	R6/10/3	R7/3/18	166	
南 03	32.698746	130.715798	R6/10/3	R7/3/18	166	
南 04	32.69495	130.72545	R6/12/25	R7/3/18	83	南 05 から移設
南 05	32.67852	130.735889	R6/9/12	R6/12/25	104	南 04 へ移設
南 06	32.668681	130.741018	R6/10/3	R7/3/18	166	
南 07	32.669408	130.768324	R6/10/3	R6/12/25	83	南 08 へ移設
南 08	32.676539	130.772358	R6/12/25	R7/3/18	83	南 07 から移設
南 09	32.690838	130.757321	R6/10/3	R6/12/25	83	南 09-2 へ移設
南 09-2	32.689767	130.758592	R6/12/25	R7/3/18	83	南 09 から移設

表 3-3 自動撮影カメラ設置状況（宇土市）

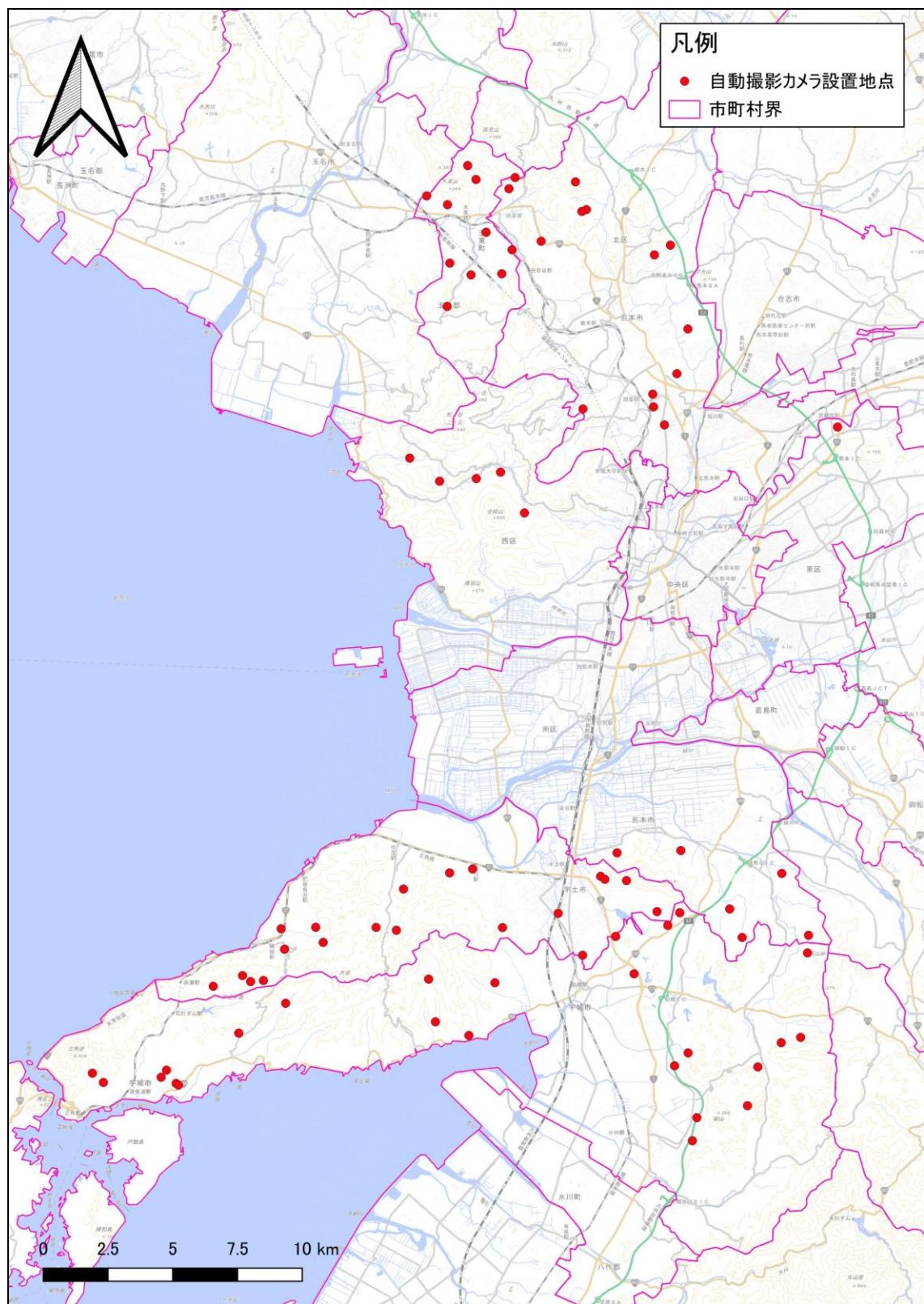
地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
宇土 01	32. 689828	130. 6828	R6/10/9	R7/3/18	160	
宇土 02	32. 688798	130. 684567	R6/10/9	R7/3/18	160	
宇土 03	32. 688353	130. 693458	R6/10/9	R7/3/18	160	
宇土 04	32. 677625	130. 706006	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 05	32. 662506	130. 675394	R6/10/9	R7/3/18	160	
宇土 06	32. 677008	130. 665358	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 07	32. 671957	130. 642372	R6/10/10	R7/3/18	159	わな設置のため 微移動
宇土 08	32. 691017	130. 620705	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 09	32. 685418	130. 601715	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 10	32. 653761	130. 544106	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 11	32. 653392	130. 538833	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 12	32. 655478	130. 535503	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 13	32. 651769	130. 523478	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 14	32. 671686	130. 551414	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 15	32. 664603	130. 552783	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 16	32. 672192	130. 565631	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 17	32. 66695	130. 568675	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 18	32. 672139	130. 590461	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 19	32. 671153	130. 598819	R6/10/10	R7/3/18	159	
宇土 20	32. 692364	130. 630142	R6/10/10	R7/3/18	159	

表 3-4 自動撮影カメラ設置状況（宇城市）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
松橋 01	32. 656097	130. 696578	R6/10/11	R7/3/18	159	
松橋 02	32. 669042	130. 688989	R6/10/11	R7/3/18	159	
松橋 03	32. 672861	130. 710419	R6/10/11	R7/3/18	159	
松橋 04	32. 677217	130. 715367	R6/10/16	R7/3/18	154	
松橋 06	32. 62868	130. 718795	R6/10/11	R7/3/18	159	
松橋 07	32. 624222	130. 713219	R6/10/11	R7/3/18	159	
豊野 01	32. 610408	130. 7432	R6/10/11	R7/3/18	159	
豊野 02	32. 623836	130. 747489	R6/10/11	R7/3/18	159	
豊野 03	32. 632233	130. 757075	R6/10/11	R7/3/18	159	
豊野 04	32. 663328	130. 7679	R6/10/11	R7/3/18	159	
豊野 05	32. 634069	130. 765078	R6/10/11	R7/3/18	159	
小川 01	32. 606242	130. 722392	R6/10/11	R7/3/18	159	
小川 02	32. 598258	130. 720536	R6/10/11	R7/3/18	159	
不知火 01	32. 652986	130. 639336	R6/10/11	R7/3/18	159	
不知火 02	32. 654242	130. 612067	R6/10/11	R7/3/18	159	
不知火 03	32. 634739	130. 628625	R6/10/11	R7/3/18	159	
不知火 04	32. 639469	130. 614883	R6/10/9	R7/3/18	161	
三角 01	32. 618122	130. 5082	R6/10/10	R7/3/18	160	
三角 02	32. 617529	130. 509143	R6/10/9	R7/3/18	161	
三角 03	32. 635536	130. 533961	R6/10/9	R7/3/18	161	
三角 04	32. 620264	130. 502039	R6/10/16	R7/3/18	154	
三角 05	32. 622711	130. 504258	R6/10/10	R7/3/18	160	
三角 06	32. 621666	130. 47379	R6/10/9	R7/3/18	161	
三角 07	32. 61845	130. 478281	R6/10/9	R7/3/18	161	
三角 08	32. 645881	130. 553252	R6/10/9	R7/3/18	161	

表 3-5 自動撮影カメラ設置状況（玉東町）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
玉東 01	32.925071	130.611265	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 02	32.930721	130.631548	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 03	32.935521	130.628126	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 04	32.922023	130.61984	R6/9/25	R7/1/10	107	玉東 11 へ移設
玉東 05	32.912496	130.635729	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 06	32.906447	130.646409	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 07	32.898159	130.642142	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 08	32.897768	130.629504	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 09	32.886875	130.619696	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 10	32.90185	130.620783	R6/9/25	R7/3/18	174	
玉東 11	32.921717	130.620997	R7/1/10	R7/3/18	67	玉東 04 から移設



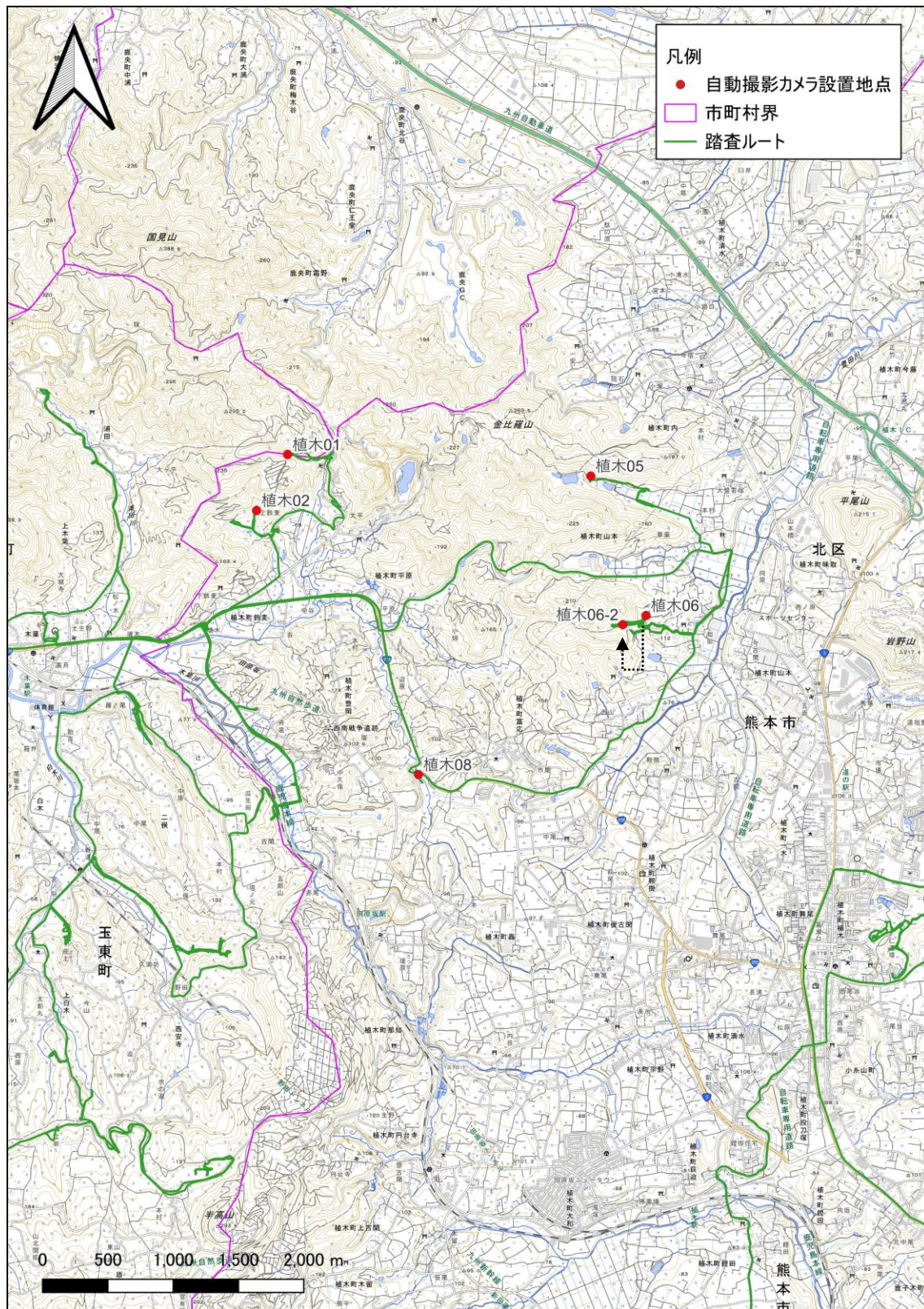


図 3-2 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 1/6）北区植木町 6 台

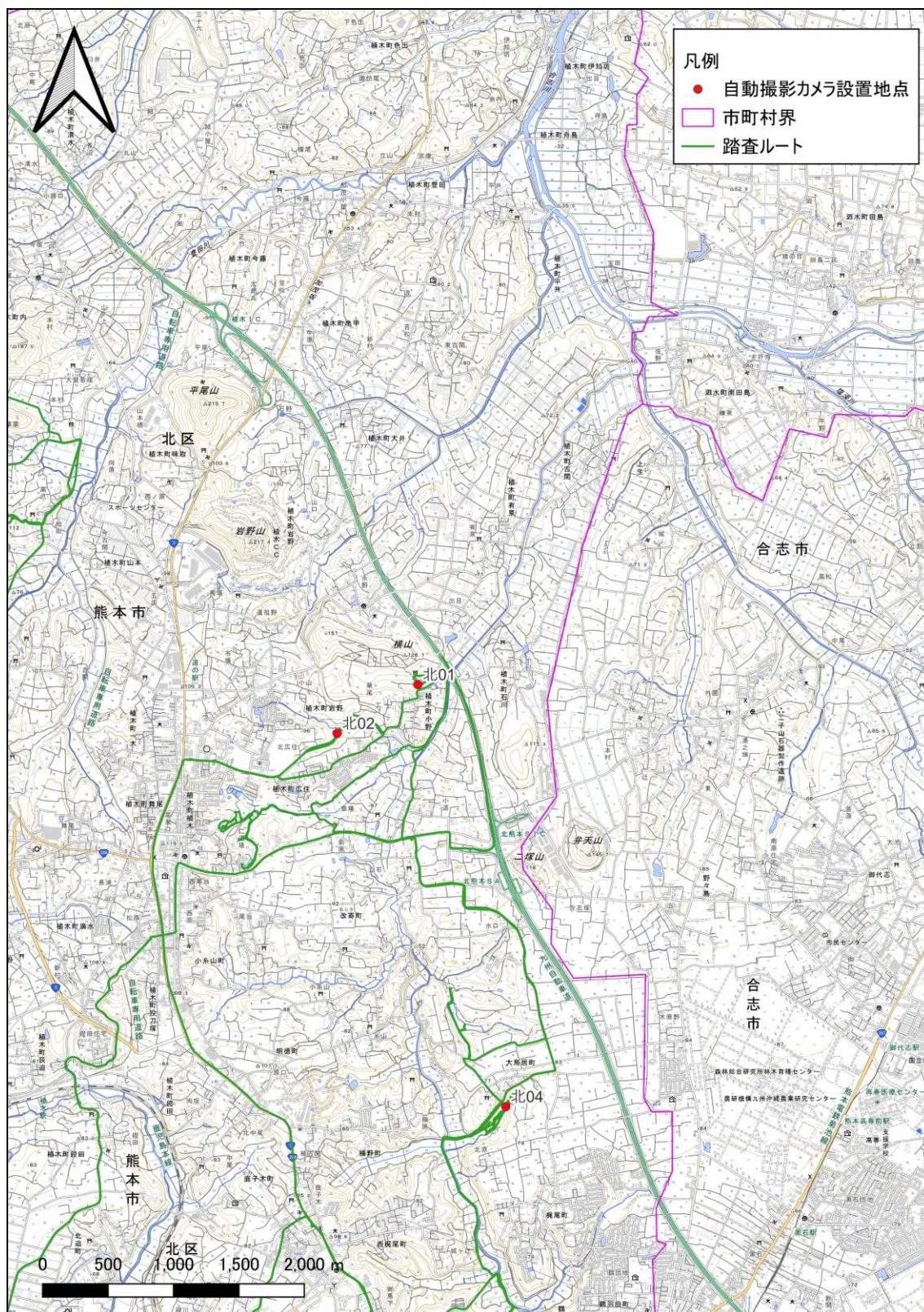


図 3-3 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 2/6 ）北区 3 台

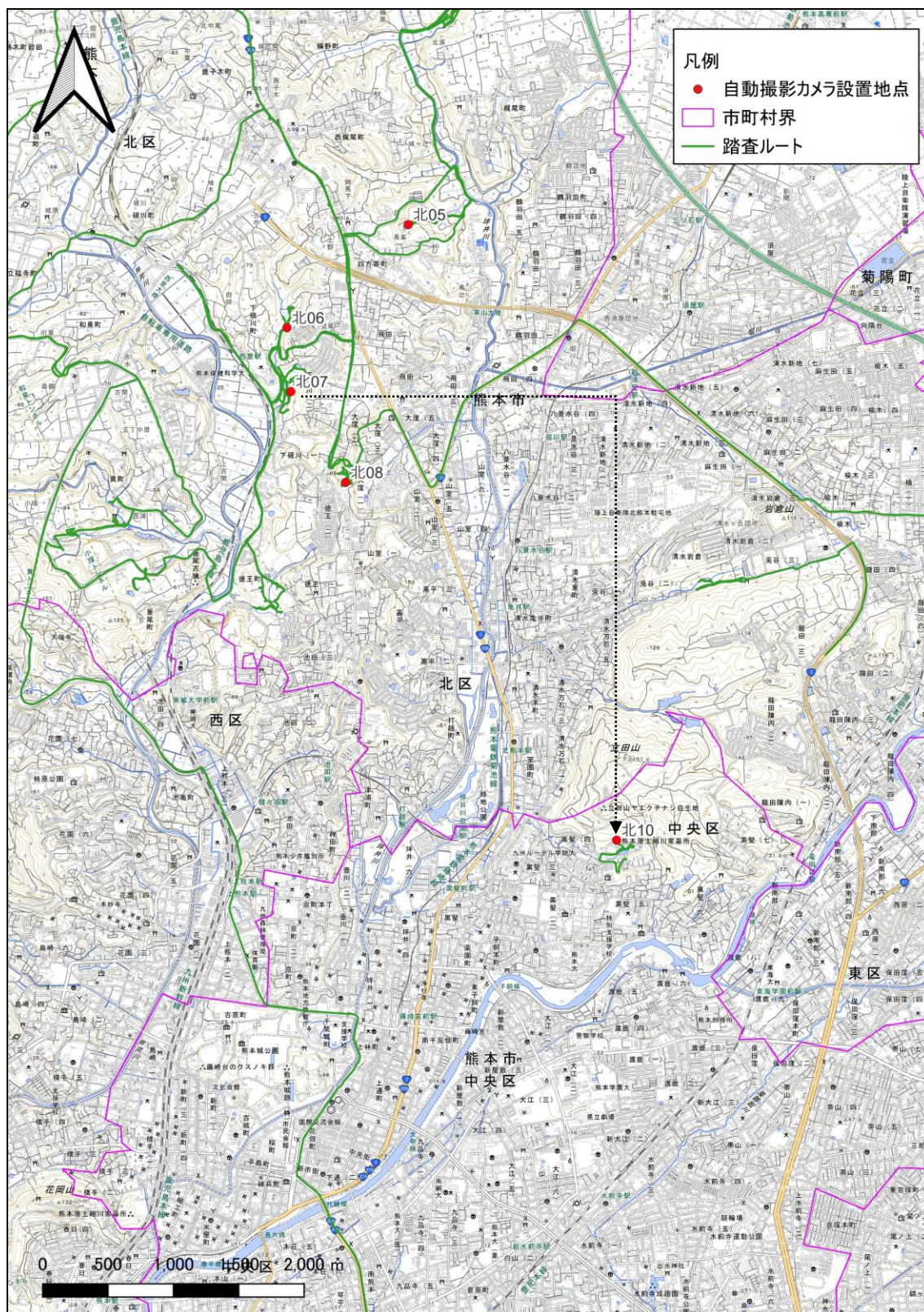


図 3-4 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 3/6）北区 5 台

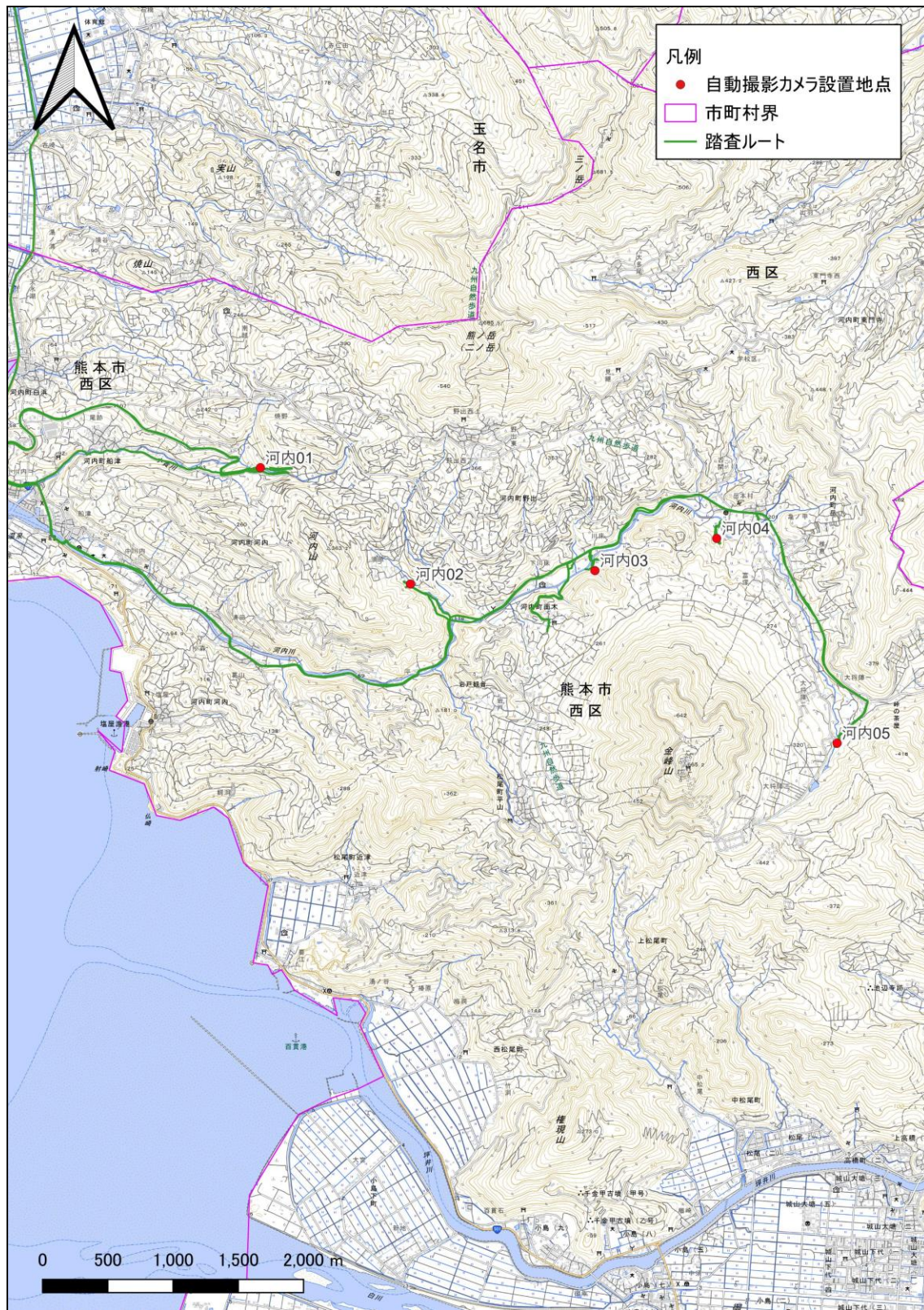


図 3-5 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 4/6）西区河内町 5 台



図 3-6 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 5/6）東区 1 台

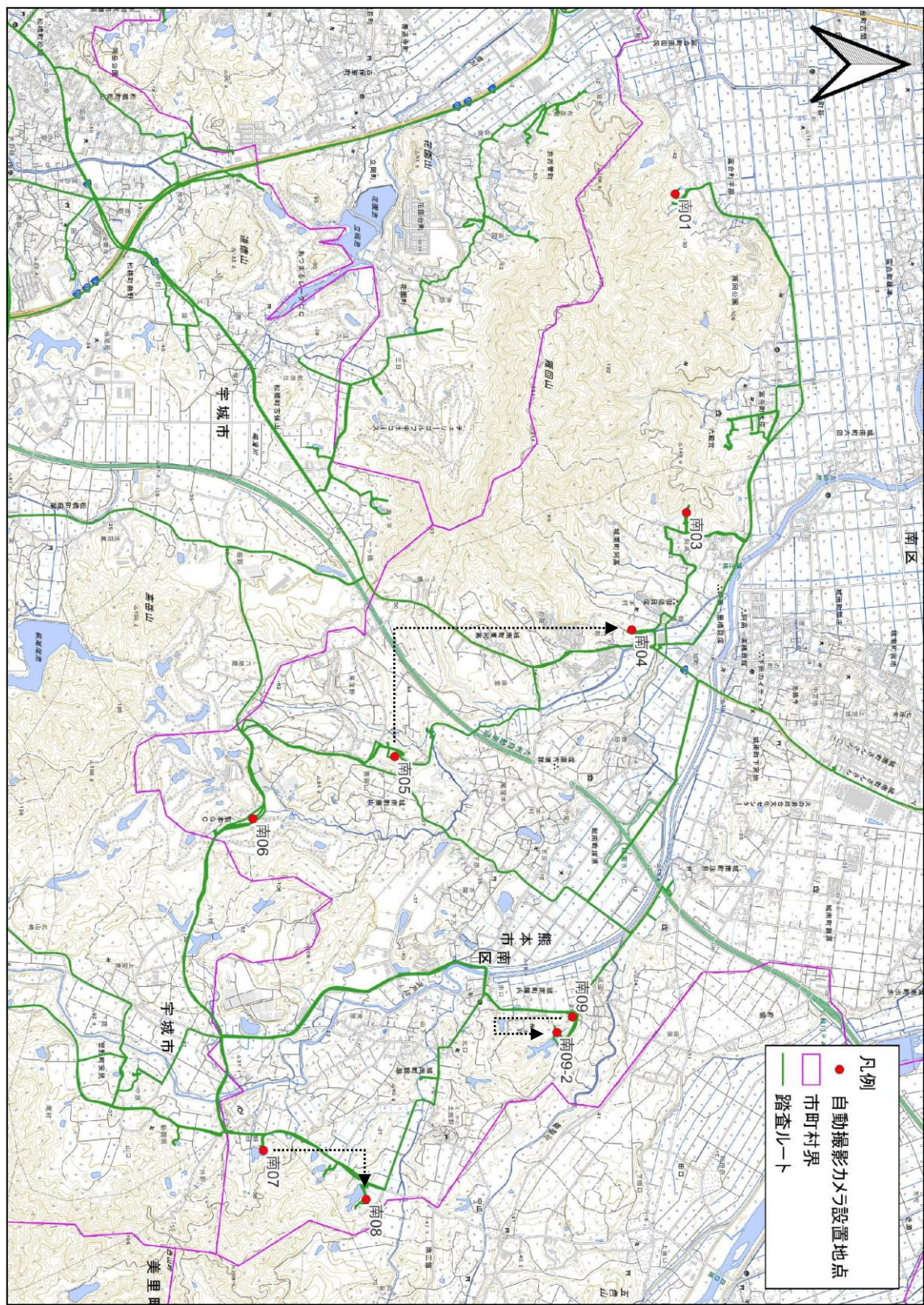


図 3-7 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 6/6）南区 9 台

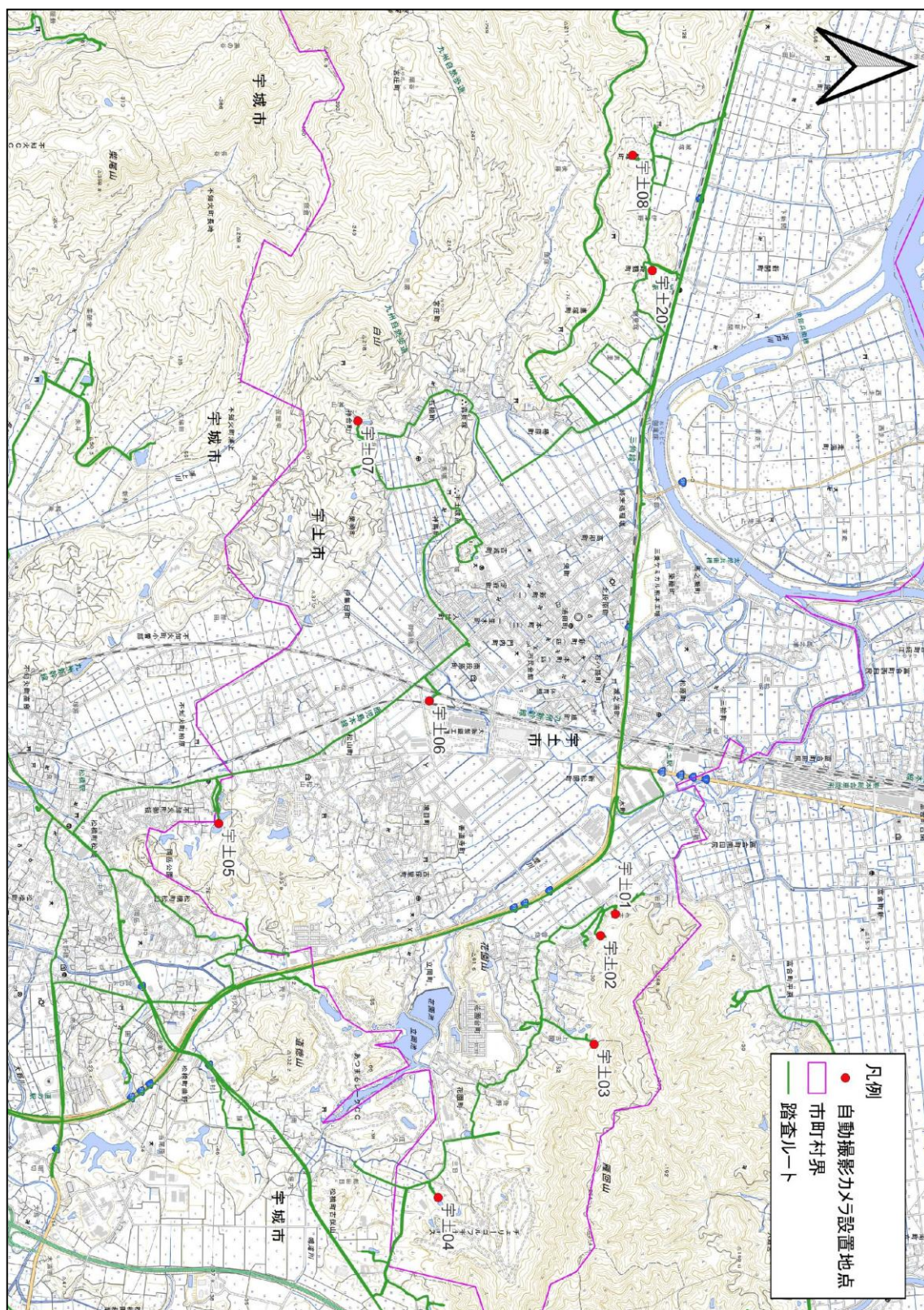


図 3-8 自動撮影カメラ設置位置（宇土市 1/2） 9 台

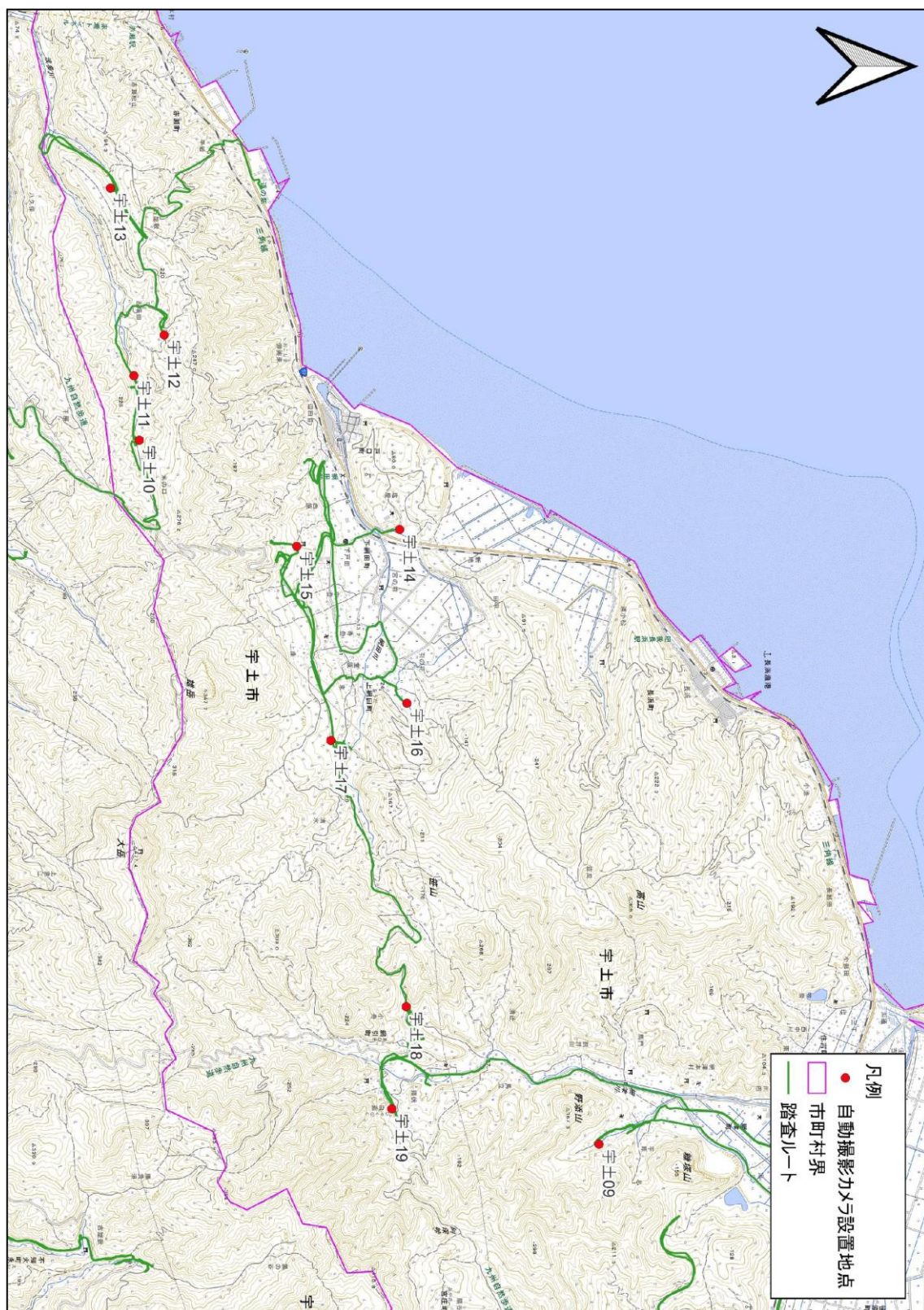


図 3-9 自動撮影カメラ設置位置（宇土市 2/2）11 台

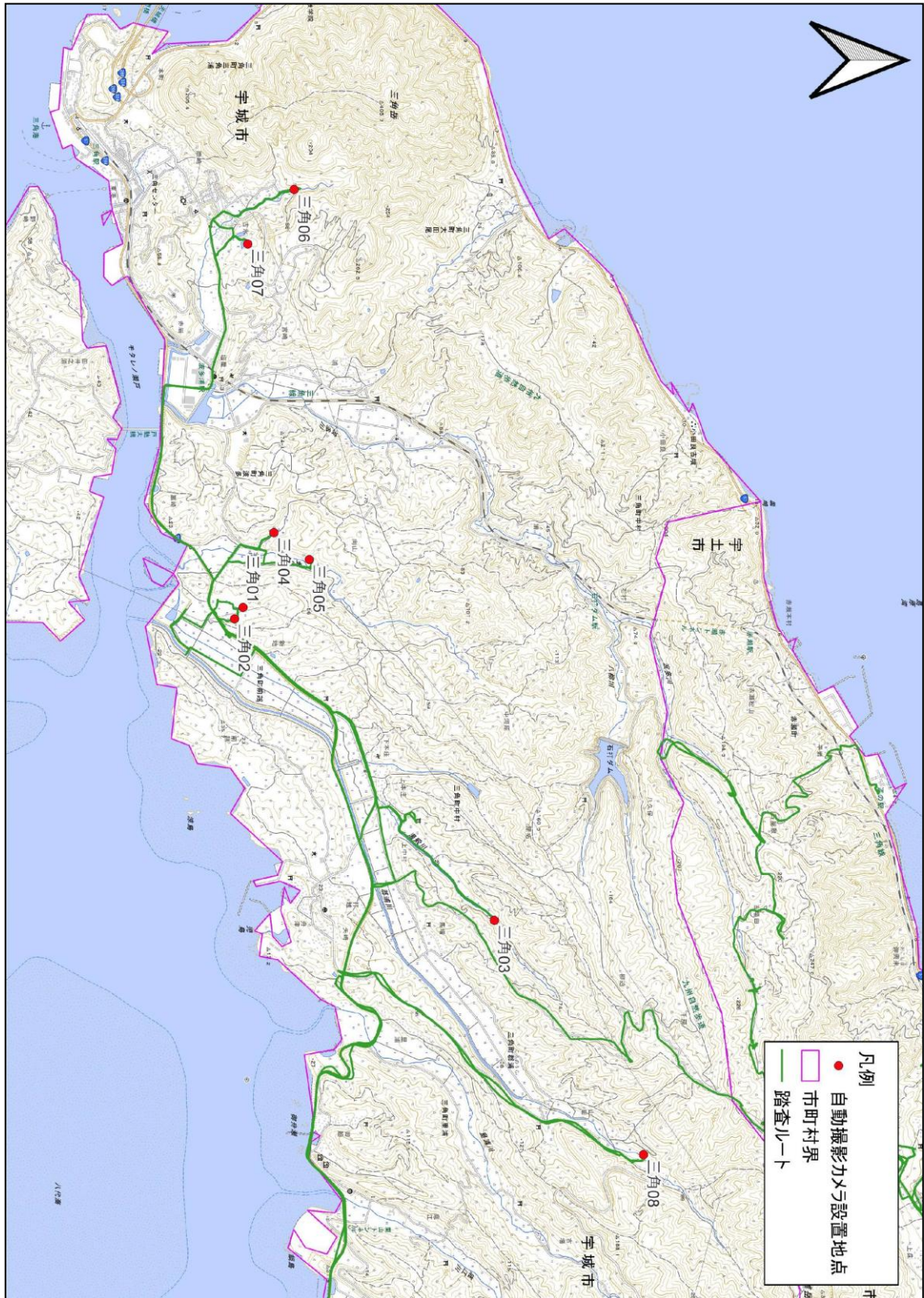


図 3-10 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 1/4）三角町 8 台

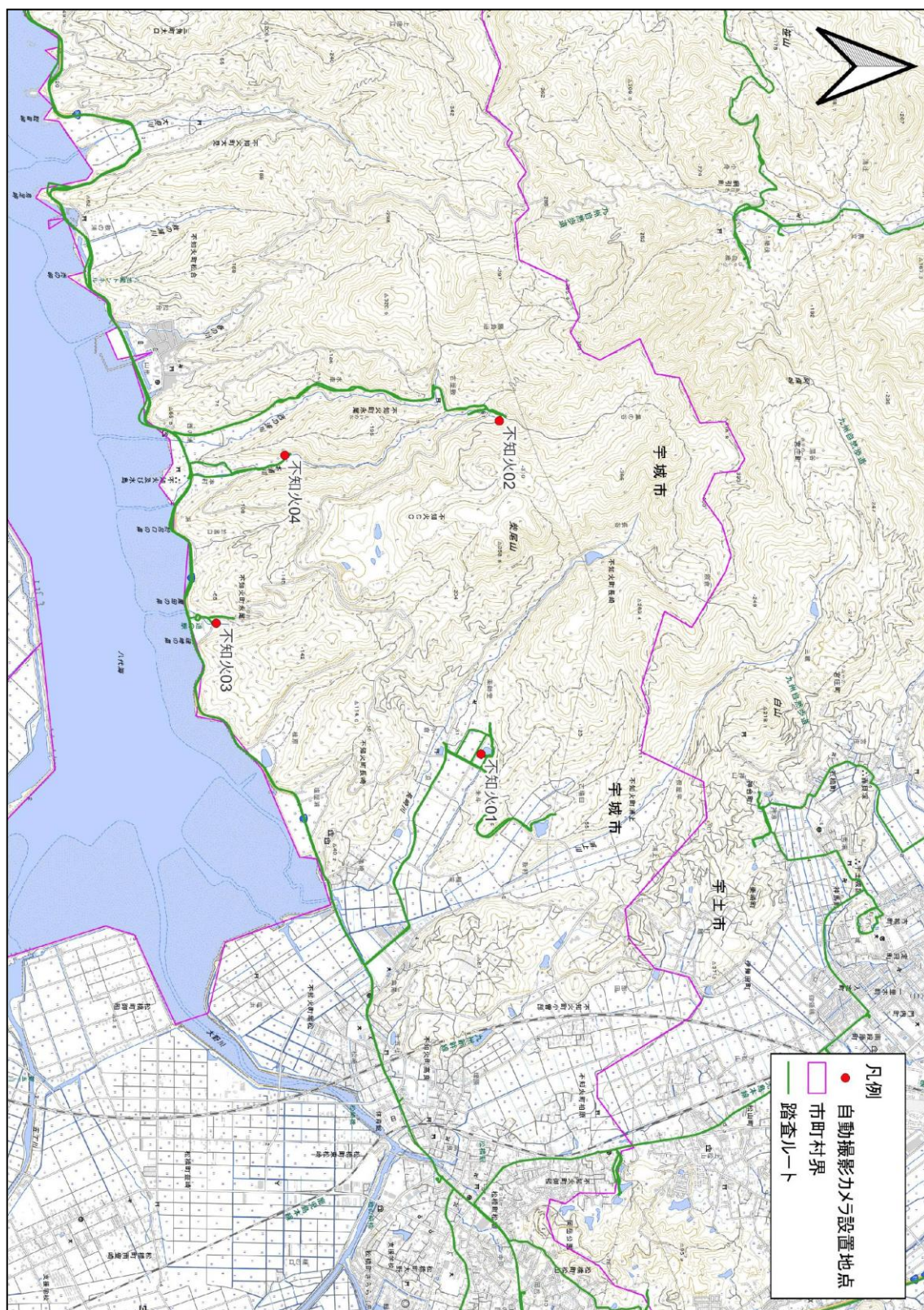


図 3-11 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 2/4）不知火町 4 台

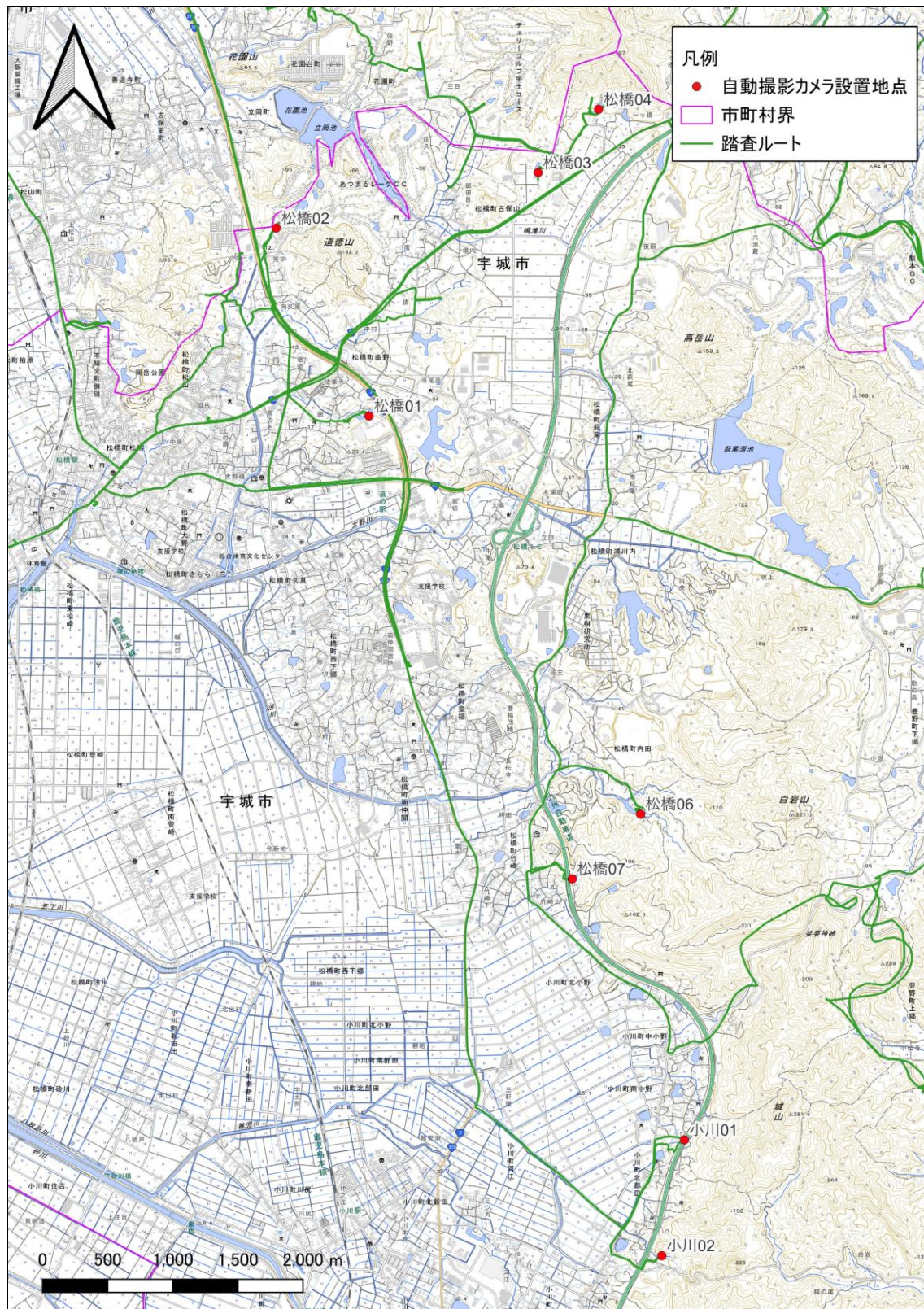


図 3-12 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 3/4）松橋町・小川町 8 台

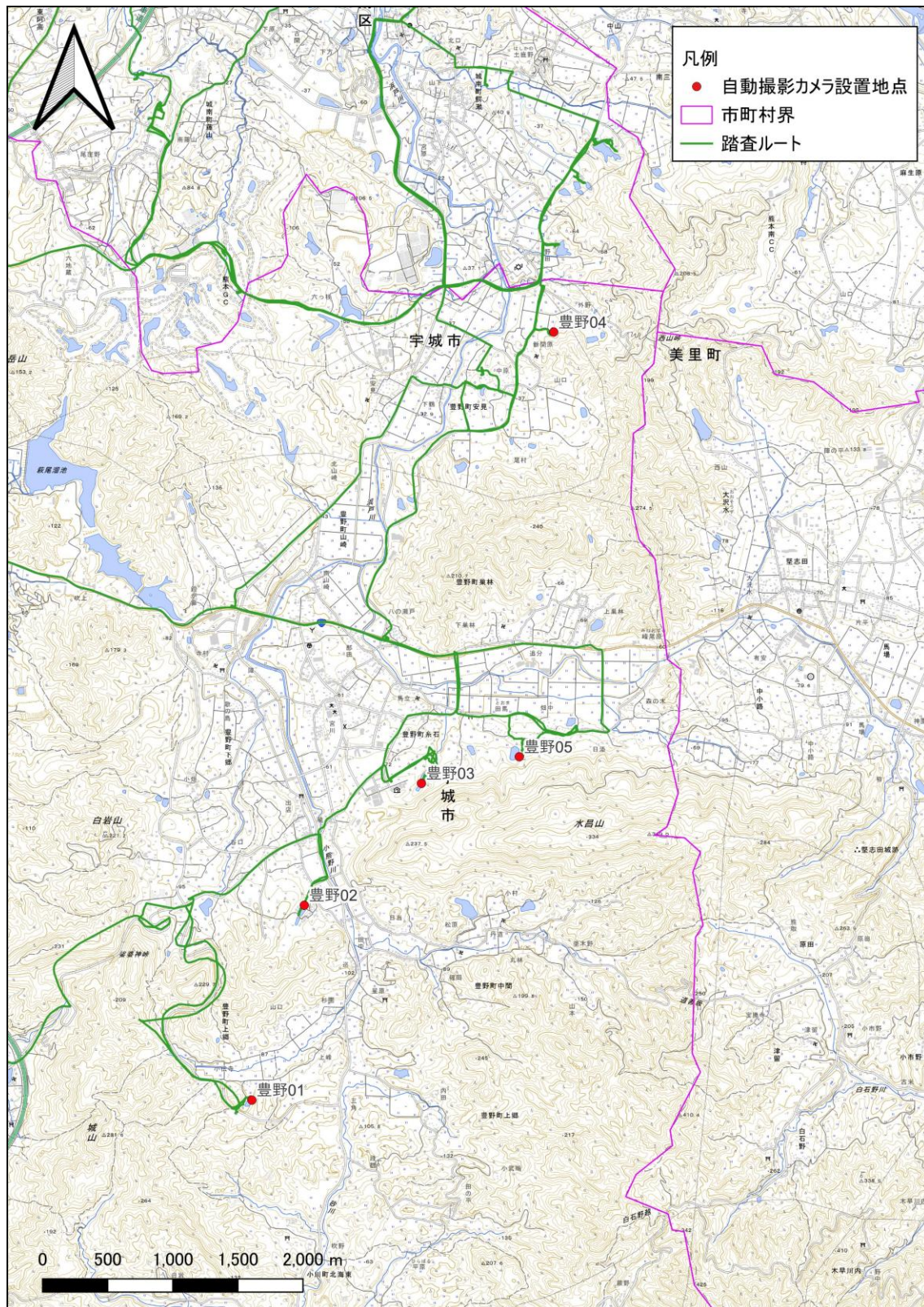
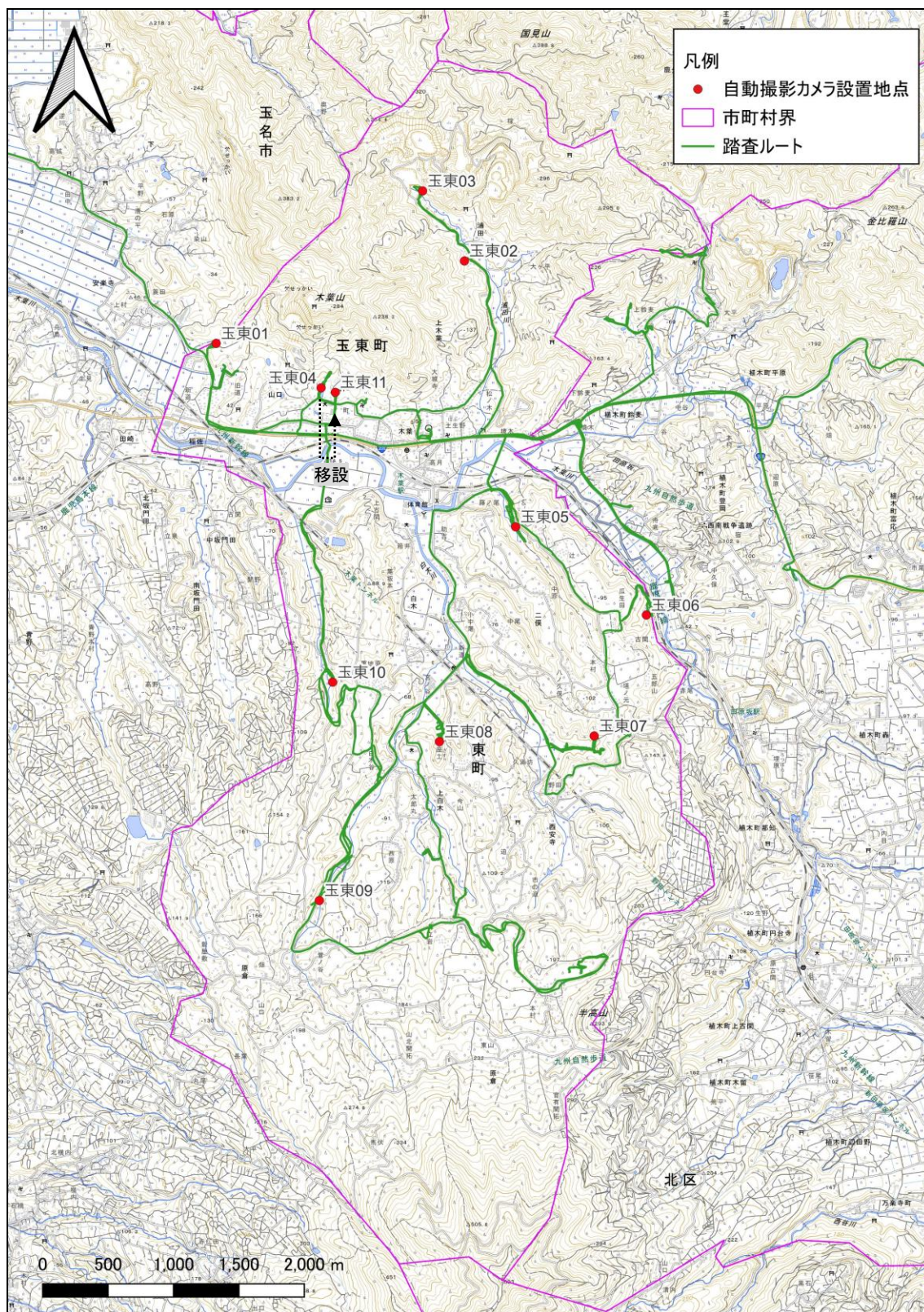


図 3-13 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 4/4）豊野町 5 台



3.2 アライグマ確認概況

フィールドサイン調査の結果、アライグマの足跡が熊本市北区下硯川町で1例確認された。足跡を確認した地点については、地権者の了承を得た上で、足跡確認場所周辺に自動撮影カメラを設置した。

自動撮影カメラによる生息状況調査では、熊本市で414回、宇土市で1回、宇城市で14回、玉東町で184回、計613回アライグマが撮影された。なお、熊本市及び玉東町については、箱わなで捕獲された個体が繰り返し撮影された記録を含む。

各市町のアライグマの確認状況一覧を表3-6に示す。表中の括弧内の数値は、箱わなによるアライグマ捕獲後の撮影を除外したものである。

各地点のアライグマ撮影状況を表3-7～表3-10に、痕跡の確認状況を表3-11に示す。

表 3-6 各市町のアライグマ確認状況一覧

対象市町	撮影回数	足跡
熊本市	414(182)	1
宇土市	1	0
宇城市	14	0
玉東町	184(30)	0
計	613(230)	1

表 3-7 各地点のアライグマ確認状況一覧（熊本市）

市町	地点	撮影回数									
		7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
熊本市	植木 01										0
	植木 02										0
	植木 05		2	2	1						5
	植木 06										0
	植木 08										0
	北 01				6	4	7	1	1	3	22
	北 02					12	3				15
	北 04					1				2	3
	北 05				7	2	4	7	5		25
	北 06					1	1	2		2	6
	北 07										0
	北 08				1	4	11				16
	北 09				39(1)	6	2				47(9)
	北 10										0
	河内 01		3	4	67(5)	133(4)					207(16)
	河内 02		4	7(4)			1				12(9)
	河内 03		2		2	4	1	2			11
	河内 04	3	15	11		2		1	2		34
	河内 05				2		2	5	1		10
	東 01										0
	東 02										0
	南 01										0
	南 02										0
	南 03										0
	南 03										0
	南 04						1				1
	南 05										0
	南 06										0
	南 07										0
	南 08										0
	南 08										0
	南 09										0
	南 09-2										0
合計		3	26	24(21)	125(25)	169(40)	33	18	9	7	414(182)

※北 09、河内 01、河内 02 は、捕獲個体が繰り返し撮影された記録を含む。

※括弧内の数値はわな捕獲後の撮影を除外したもの。

表 3-8 各地点のアライグマ確認状況一覧（宇土市）

市町	地点	撮影回数						
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
宇土市	宇土 01							0
	宇土 02							0
	宇土 03							0
	宇土 04							0
	宇土 05							0
	宇土 06							0
	宇土 07			1				1
	宇土 08							0
	宇土 09							0
	宇土 10							0
	宇土 11							0
	宇土 12							0
	宇土 13							0
	宇土 14							0
	宇土 15							0
	宇土 16							0
	宇土 17							0
	宇土 19							0
	宇土 20							0
	宇土 21							0
	合計	0	0	1	0	0	0	1

表 3-9 各地点のアライグマ確認状況一覧（宇城市）

市町	地点	撮影回数						
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
宇城市	松橋 01							0
	松橋 02			1		1		2
	松橋 03							0
	松橋 04							0
	松橋 06							0
	松橋 07					1		1
	豊野 01							0
	豊野 02							0
	豊野 03							0
	豊野 04							0
	豊野 05							0
	小川 01							0
	小川 02							0
	不知火 01							0
	不知火 02							0
	不知火 03							0
	不知火 04							0
	三角 01							0
	三角 02							0
	三角 03			1				1
	三角 04							0
	三角 05	4	4	2				10
	三角 06							0
	三角 07							0
	三角 08							0
	合計	4	4	4	0	2	0	14

表 3-10 各地点のアライグマ確認状況一覧（玉東町）

市町	地点	撮影回数						
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
玉東町	玉東 01	5		3		1	2	11
	玉東 02	3	2				1	6
	玉東 03					1	1	2
	玉東 04							0
	玉東 05					1		1
	玉東 06		161(7)			2		163(9)
	玉東 07							0
	玉東 08							0
	玉東 09							0
	玉東 10						1	1
	玉東 11							0
合計		8	163(9)	3	0	5	5	184(30)

※玉東 06 は捕獲個体が繰り返し撮影された記録を含む。

※括弧内の数値はわな捕獲後の撮影を除外したもの。

表 3-11 アライグマの痕跡の確認状況

確認日	場所	確認内容	画像	備考
R6/09/03	熊本市 北区 下碓川	足跡	 	

3 市 1 町で、アライグマが撮影された地点を、図 3-15～図 3-16 に示す。

玉東町、熊本市北区の木葉山周辺から熊本市西区の金峰山周辺にかけてまとまって確認されたほか、熊本市南区、宇土市、宇城市の広域で、分散的に確認された。

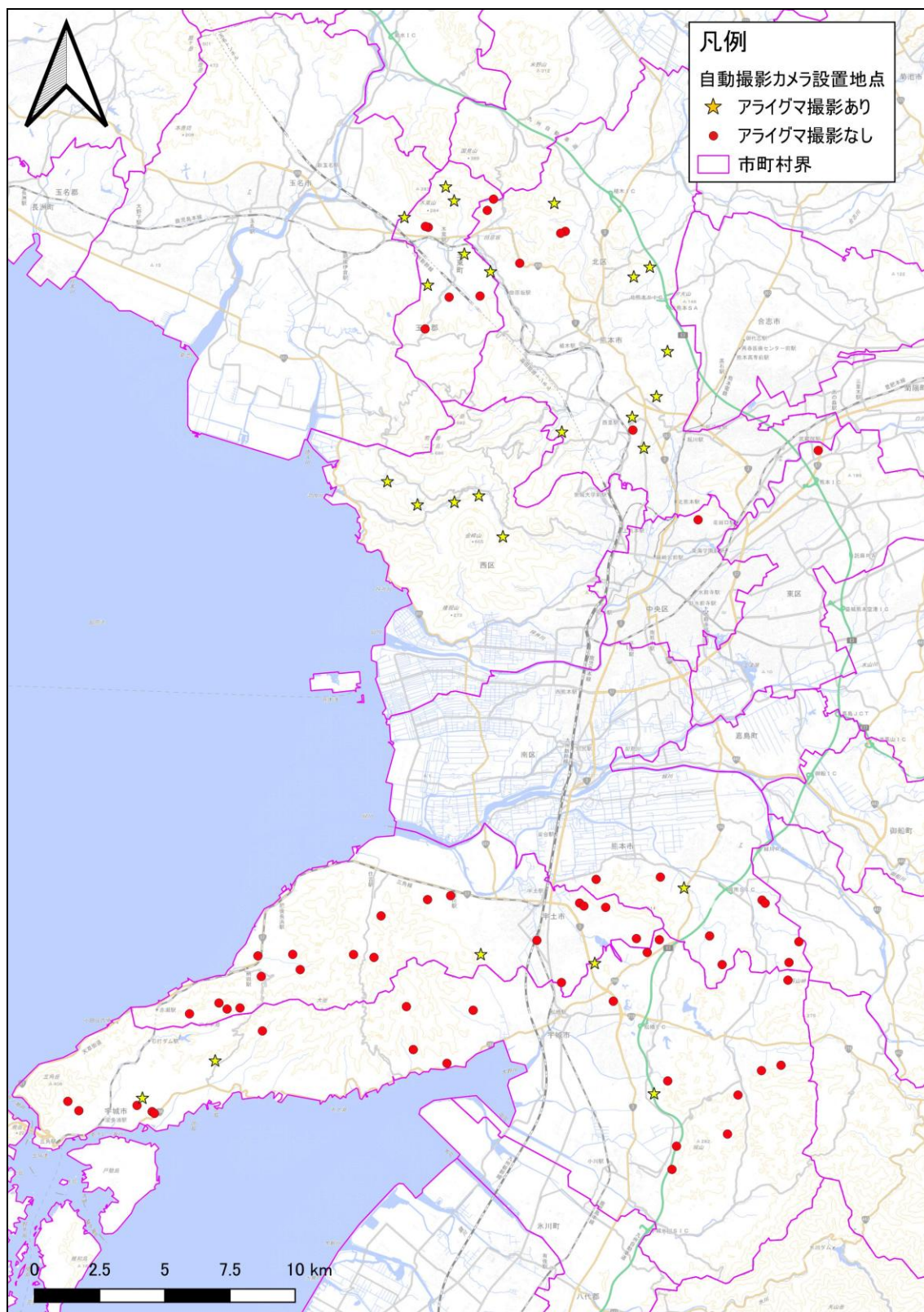


図 3-15 アライグマ確認位置

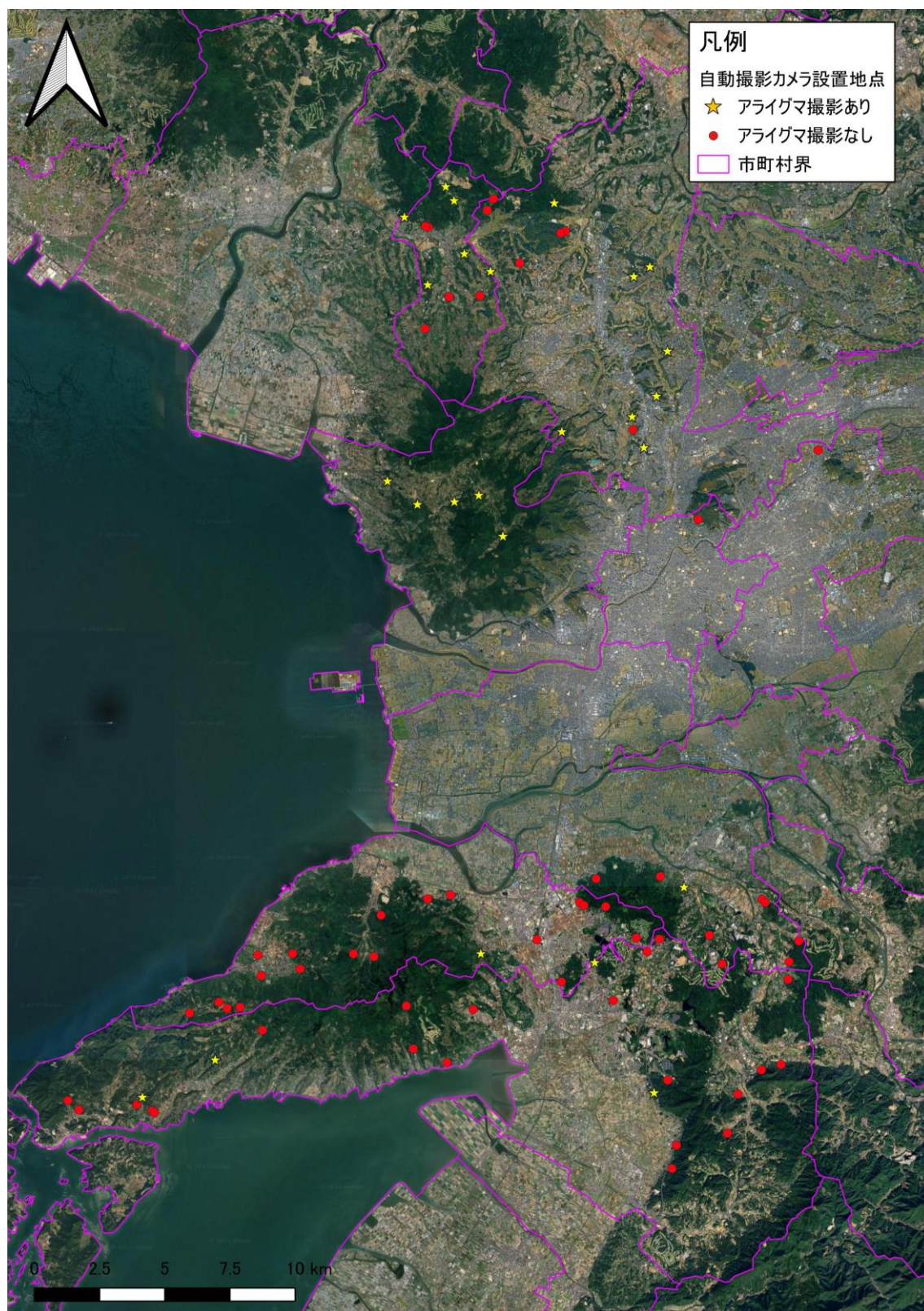


図 3-16 アライグマ確認位置（航空写真）

3.3 熊本市

北区、西区、南区を中心に耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施した結果、北区下碓川町の水路にて、アライグマの足跡が確認された。

これまでの撮影実績や痕跡確認状況をもとに自動撮影カメラを設置した結果、14 地点（北区：8 地点、西区：5 地点、南区：1 地点）でアライグマが撮影された。北区ではこれまで木葉山山塊から金峰山山塊に繋がる山裾部を中心に確認されていたが、今年度は坪井川と井芹川に挟まれた丘陵地帯を中心に調査を行った結果、多くの地点で撮影された。西区では河内町に設置した全ての地点で撮影された。南区では雁回山周辺から城南町の丘陵地帯に 9 台を設置したが撮影されたのは 1 地点（南 04）のみであった。

熊本市内では過年度と同様に、北部から南部までの広域でアライグマが確認されているが、今年度は南区での確認が少ない状況であった。

なお、北 05、北 09、河内 01、河内 02 の地点では、アライグマ撮影後に熊本市が設置した箱わなで捕獲されているが、捕獲後も別個体が撮影されており、複数個体の生息が確認されている。



地区環境（水路）



地区環境（寺社）



地区環境（ため池）



アライグマ捕獲（北 09）※熊本市設置

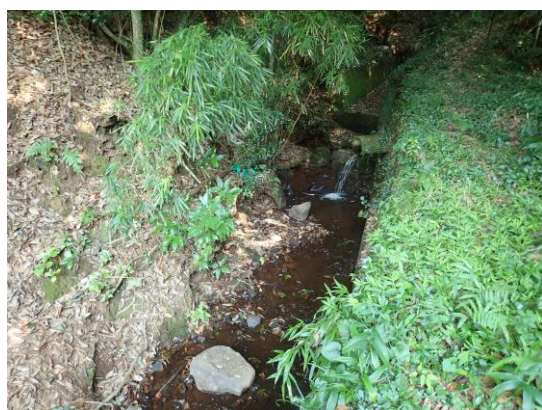
3.4 宇土市

雁回山周辺や宇土半島の耕作地、果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。

これまでの確認情報をもとに自動撮影カメラを設置した結果、宇土市神谷町(宇土 07)の水路にてアライグマが1回撮影された。撮影後に同地点に宇土市が箱わなを設置したが、その後アライグマは撮影されず、捕獲には至らなかった。

また、本業務期間中に宇土市が住民からの目撃情報を受け別途設置した自動撮影カメラでも、アライグマが撮影された(宇土市中心部 国道57号線沿い)。

いずれの撮影地点も市街地周辺であり、市民の生活圏内にアライグマが生息していることが確認された。



地区環境（水路）



地区環境（ため池周辺）



アライグマ撮影状況
(宇土 07)



アライグマ撮影状況
(宇土市内 ※画像引用：宇土市)

3.5 宇城市

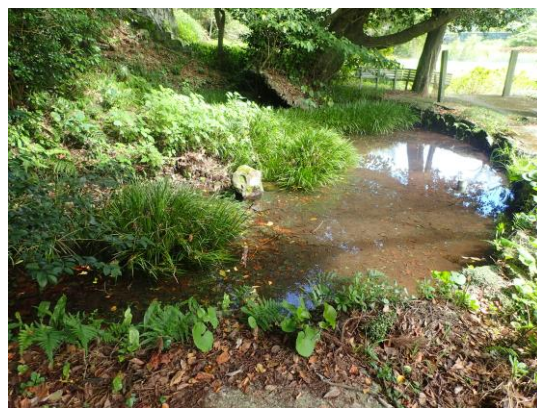
三角町、不知火町、松橋町、豊野町、小川町の市内全域において、耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査を行ったほか、農家等へのヒアリングを実施した。確実な痕跡は確認されなかったが、不知火町では、ぶどう農家から野生動物による作物被害が発生しているとの情報が得られたため、付近の水路周辺に自動撮影カメラを設置したが、アライグマは撮影されなかった（不知火 01）。

これまでの撮影実績や痕跡確認状況をもとに自動撮影カメラを設置した結果、松橋町と三角町のため池や水路でアライグマが撮影された。

また、松橋町では11月に猟友会が設置したくくりわなでアライグマが捕獲されたという報告もあった。昨年度に引き続き個体数は多くないと思われるが、市内の広範囲にアライグマが生息していると考えられる。



地区環境（水路）



地区環境（池）



地区環境（神社）



アライグマ撮影状況（松橋 07）

3.6 玉東町

町内広域の耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。

フィールドサイン調査結果やこれまで確認情報をもとに、11 地点に自動撮影カメラを設置した結果、6 地点でアライグマが撮影された。

町北部の木葉山周辺で 3 地点、木葉川より南側で 3 地点と広範囲に分布していることが確認されたが、撮影回数では南部は少なく、生息個体数も少ないと考えられる。

また、玉東 06 では、アライグマ撮影後に玉東町が設置した箱わなでアライグマが捕獲されたが、その後も別個体が撮影されており、複数個体の生息が確認されている。



地区環境（ため池）



地区環境（沢筋）



地区環境（湿地）



アライグマ捕獲（玉東 06）

3.7 その他の確認種

自動撮影カメラ調査の結果、アライグマを含む5目9科13種の哺乳類と6目8科10種の鳥類が確認された。確認種一覧を表 3-12 に示す。地点ごとの詳細は資料編に示す。

確認種のうち、タヌキ、キツネ、ニホンアナグマなどはアライグマと生息環境や餌資源を競合する種であり、アライグマが増加することで生息に影響を及ぼす可能性がある。また、重要種として、玉東町でミゾゴイ（環境省 RL：絶滅危惧Ⅱ類、熊本県 RL：絶滅危惧ⅠB類）が確認されたほか、熊本市、宇土市、玉東町でフクロウ（熊本県 RL：絶滅危惧ⅠB類）が確認された。ミゾゴイは、アライグマと同じく水辺を採餌環境として利用することから、餌資源の減少や捕食被害等が懸念される。フクロウは、アライグマと同じく樹洞を利用するため、ねぐら環境の競合や捕食被害等が懸念される。

アライグマによる生態系への影響は不明点も多いため、アライグマ以外の生息種についても情報を収集、蓄積し、今後の変化をモニタリングすることが望ましい。

表 3-12 確認種一覧

No.	分類	目名	科名	種名	熊本市	宇土市	宇城市	玉東町	備考
1	哺乳類	コウモリ目	ー	コウモリ目	●				
2		ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	●	●	●	●	
3		ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科	●	●	●	●	
4		ネコ目	アライグマ科	アライグマ	●	●	●	●	特定外来生物
5			イヌ科	タヌキ	●	●	●	●	
6				キツネ	●	●	●	●	
7				ノイヌ		●	●		
8		イタチ科	テン	●	●	●	●		
9			イタチ属	●	●	●	●		
10			ニホンアナグマ	●	●	●	●		
11		ネコ科	ノネコ	●	●	●	●		
12		ウシ目	イノシシ科	イノシシ	●	●	●	●	
13			シカ科	ニホンジカ	●		●		
哺乳類合計 5 目 9 科 13 種					12	11	12	10	
1	鳥類	キジ目	キジ科	コジュケイ				●	
2		ハト目	ハト科	キジバト	●	●	●		
3		ペリカン目	サギ科	ミゾゴイ				●	環境省 RL：VU 熊本県 RL：EN
4				ゴイサギ	●	●	●		
5				アオサギ		●	●		
6		チドリ目	シギ科	ヤマシギ	●			●	
7		フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	●	●		●	熊本県 RL：EN
8		スズメ目	カラス科	カラス	●				
9			ヒヨドリ科	ヒヨドリ	●		●		
10			ヒタキ科	シロハラ		●		●	
鳥類合計 6 目 8 科 10 種					6	5	4	5	

※環境省 RL：環境省レッドリスト 2020

VU：絶滅危惧Ⅱ類

※熊本県 RL：レッドリストくまもと 2024 -熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物-

EN：絶滅危惧ⅠB類

3.8 相談対応

履行場所市町担当者によるアライグマの同定依頼及びアライグマの捕獲を行う際の箱わな設置場所等に係る相談に対応した。対応状況は表 3-13 に示すとおりである。

表 3-13 相談対応状況

年月日	市町	対応内容
令和 6 年 7 月 19 日	宇土市	クリハハリス対策用の自動撮影カメラに撮影された個体の写真判別対応
令和 6 年 8 月 15 日	熊本市	ロードキル個体の写真判別対応
令和 6 年 9 月 26 日	玉東町	箱わな設置場所の選定対応
令和 7 年 2 月 22 日	宇土市	住民からの目撃情報をもとに宇土市が設置した自動撮影カメラに撮影された個体の写真判別対応

4. 考察

4.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況整理

令和6年11月30日までの熊本県内におけるアライグマ確認状況（令和7年3月18日時点での熊本県の公表情報）の市町村別一覧を表4-1に示す。令和6年度の県内での確認例数は164件となり、過去最高の確認例数となっている。今年度は新たに美里町でアライグマが確認された。美里町の2例はいずれも捕獲であった。

美里町のほか、阿蘇市や南小国町等でもアライグマが確認されはじめており、県央部の山地などでの分布拡大が伺える。

本事業対象外の市町としては、和水町、玉名市、山鹿市、菊池市等で継続的に確認されており、県北部での定着が伺える。

表 4-2 熊本県内におけるアライグマの確認状況

市町	確認年度															
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 -R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
荒尾市				1											1	2
南関町								2	2				1	1	1	7
和水町									3		1	2			5	11
玉名市					1		2	1	11	13				5	1	34
山鹿市						1	3	1	5	4	6	6	1	4	5	36
菊池市					1				2		7	9	5	7	12	43
玉東町									11	2	3	27	36	4	2	85
熊本市	1							3	9	22	45	33	93	85	130	421
大津町									1							1
菊陽町											1					1
益城町							1				1					2
御船町		1	1													2
甲佐町											1					1
宇土市									1				5			6
宇城市						2		2			1	5	4	1		15
氷川町												2				2
小国町					4											4
南小国町														1	4	5
高森町						1				1						2
産山村														1		1
阿蘇市													4		1	5
南阿蘇村												1	1			2
山都町								1								1
美里町															2	2
芦北町											1					1
津奈木町														1		1
水俣市											1		1			2
天草市									1							1
総計	1	1	1	1	6	4	6	10	46	42	68	85	151	110	164	696

※塗りつぶし箇所は本業務における履行場所を示す。

※確認事例の計数方法が異なるため、本業務における確認事例数とは合致しない。

(1) 熊本市

熊本県公表データにおける熊本市での確認数は令和6年11月30日時点で130例と過去最多の値となった(表4-2参照)。

本業務における確認状況は、撮影頻度が昨年度の約2倍となっており、特に北区、西区で増加傾向がみられた。

南区での撮影は1地点のみであったが、引き続き雁回山周辺に生息していることが確認された。生息状況調査における確認状況の経年推移を表4-3及び図4-1に示す。

平成28年度のモニタリングから顕著な増加傾向がみられ、捕獲体制の強化が急務であるといえる。

表 4-3 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移(熊本市)

年度	地区	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
平成28年度	合計	13	0	761	0	0.0000
	北区	5	0	276	0	0.0000
	西区	4	0	254	0	0.0000
	南区	3	0	194	0	0.0000
	東区	1	0	37	0	0.0000
平成29年度	合計	15	2	1772	6	0.0034
	北区	9	1	904	5	0.0055
	南区	6	1	868	1	0.0012
平成30年度	合計	23	5	3816	10	0.0026
	北区	12	3	1765	6	0.0034
	西区	3	1	588	1	0.0017
	南区	8	1	1463	3	0.0021
令和元年度	合計	28	5	3749	15	0.0040
	北区	10	5	1454	15	0.0103
	西区	5	0	710	0	0.0000
	南区	13	0	1585	0	0.0000
令和2年度	合計	25	11	3533	38	0.0108
	北区	17	11	2310	38	0.0165
	西区	7	0	1112	0	0.0000
	南区	1	0	111	0	0.0000
	東区	1	0	110	0	0.0000
令和3年度	合計	27	10	4904	25	0.0051
	北区	14	8	2580	15	0.0058
	西区	6	2	954	10	0.0105
	南区	7	0	1370	0	0.0000
令和4年度	合計	27	17	3949	87	0.0220
	北区	14	9	2058	72	0.0350
	西区	7	3	1116	7	0.0063
	南区	6	5	775	8	0.0103
令和5年度	合計	30	18	4000	73	0.0183
	北区	14	10	1781	33	0.0185
	西区	8	5	1083	33	0.0305
	南区	8	3	1136	7	0.0062
令和6年度	合計※1	30	14	4902	182	0.0371
	北区※1	14	8	2552	101	0.0396
	西区※1	5	5	1175	80	0.0681
	南区	10	1	1017	1	0.0010
	東区	1	0	158	0	0.0000

※1 集計に際しては箱わな捕獲時の撮影記録を除外した。

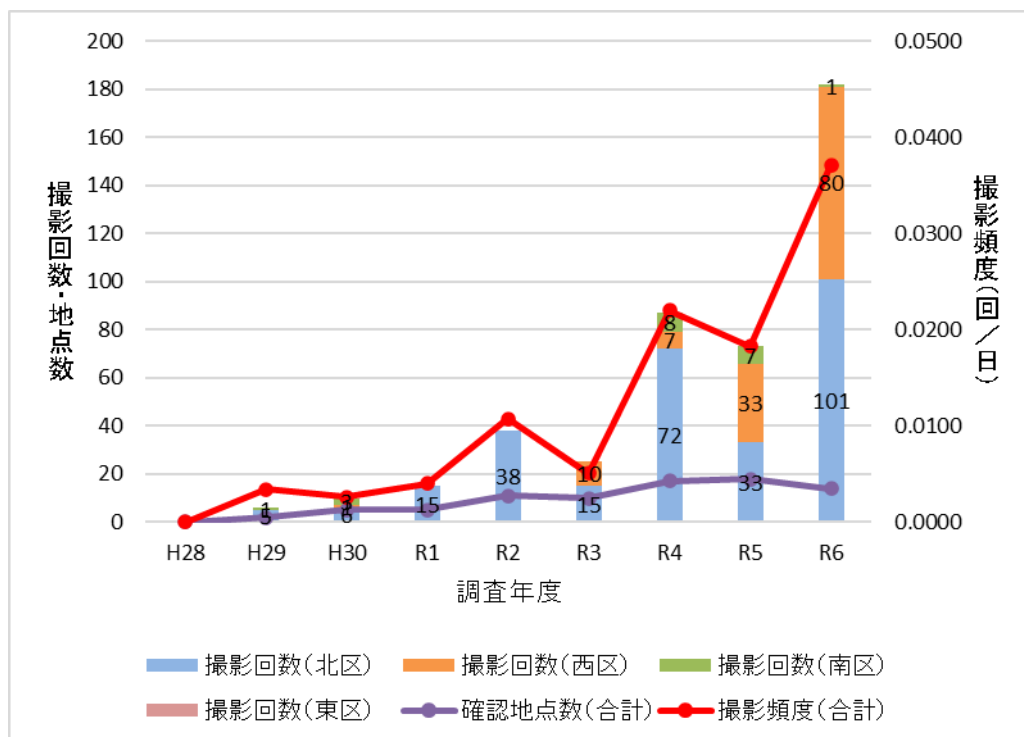


図 4-1 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（熊本市）

(2) 宇土市

宇土市では、本業務の自動撮影カメラ設置期間中、宇土市^{こうあい}神合町にて1回、アライグマが撮影された。これまでの撮影状況から、宇土市内におけるアライグマの生息個体数は、令和3年度のモニタリング開始以降、少ない状況と考えられる。

しかし、これまでの確認地点をみると、雁回山周辺から宇土市中心部の市街地、宇土半島西部までアライグマが確認されており、低密度ながら広範囲にアライグマが分布していると考えられ、今後の個体数の増加が懸念される。

また、隣接する宇城市松橋町や熊本市南区でも引き続きアライグマが確認されており、近接する他市町におけるアライグマ確認状況を含め注視していく必要がある。

生息状況調査における確認状況の経年推移を表 4-4 及び図 4-2 に示す。

表 4-4 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（宇土市）

地区	年度	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
宇土市	令和3年度	22	0	3087	0	0.0000
	令和4年度	20	3	3016	3	0.0011
	令和5年度	20	0	3108	0	0.0000
	令和6年度	20	1	3184	1	0.0003

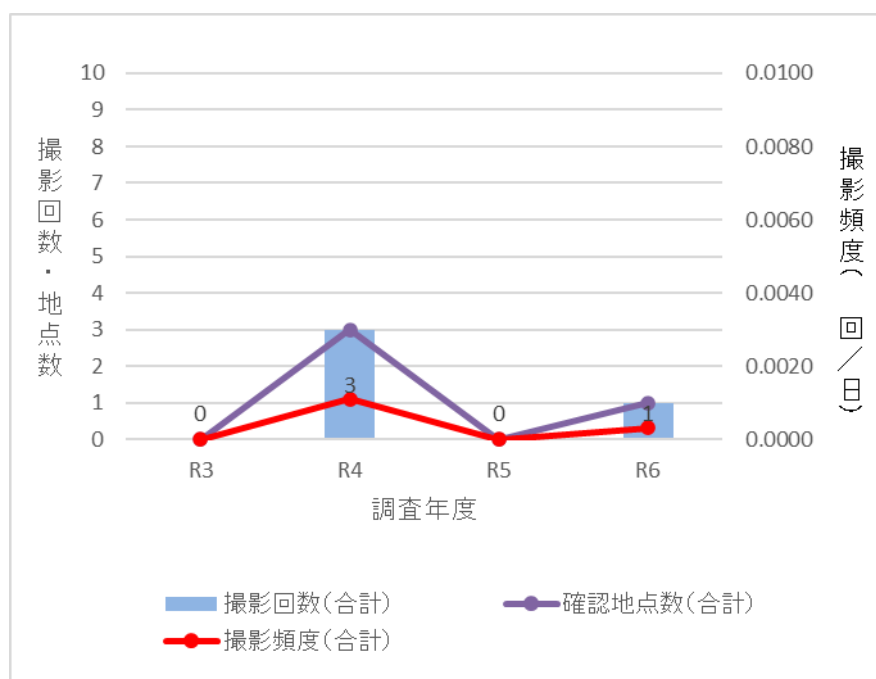


図 4-2 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（宇土市）

(3) 宇城市

今年度は松橋町 2 地点、三角町 2 地点の 4 地点で計 14 回撮影されたが、過年度に撮影実績のあった不知火町、豊野町での撮影はなかった。

撮影地点数や撮影頻度は令和 3 年度のモニタリング開始時から増減を繰り返しており、明らかな増加傾向はみられていない。

本業務でのモニタリングのほかに、松橋町の農地付近で捕獲事例もあり、生息個体数は依然として少ないものの、市内広域にアライグマが生息していると思われる。

現時点では低密度であることから撮影地点や枚数に増減が見られるが、今後、確認数が増加する可能性があり、生息状況の把握を継続するとともに、確認地点での捕獲を引き続き強化していく必要がある。

生息状況調査における確認状況の経年推移を表 4-5 及び図 4-3 に示す。

表 4-5 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（宇城市）

地区	年度	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
宇城市	令和 3 年度	29	2	4618	6	0.0013
	令和 4 年度	28	6	3823	18	0.0047
	令和 5 年度	25	2	3790	5	0.0013
	令和 6 年度	25	4	3954	14	0.0035

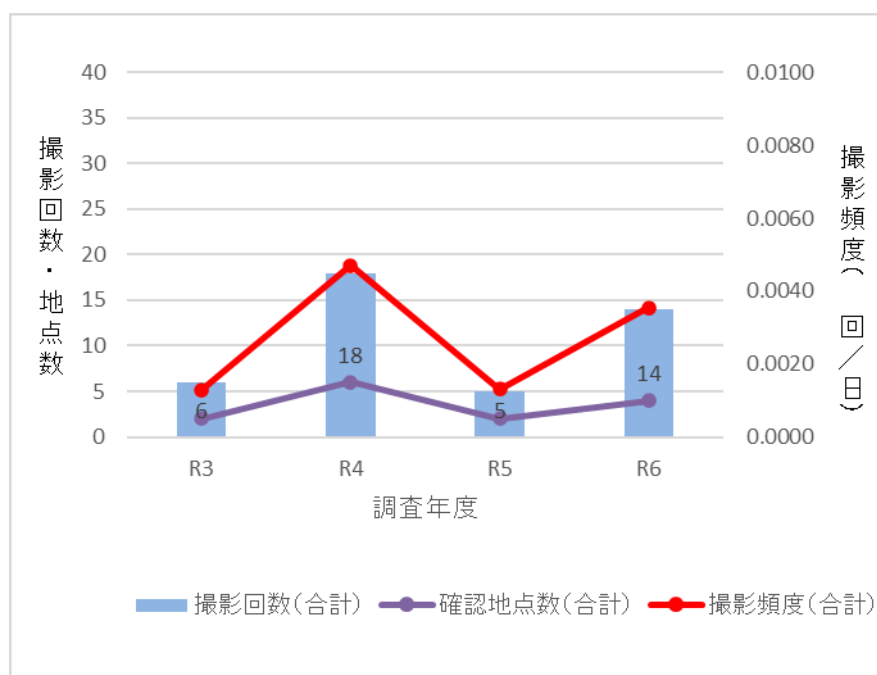


図 4-3 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（宇城市）

(4) 玉東町

昨年度に引き続き、木葉山周辺部に加え、玉東町南部でも複数地点でアライグマが確認され、分布拡大が懸念されるが、撮影地点数や撮影回数、撮影頻度はこの4年間で最も低い値を示した。特に木葉山周辺では撮影はされているものの、その頻度は低くなっており、熊本市側での同様の傾向が見られる。一時的な変化、捕獲等による変化が考えられるが、詳細な要因は不明であり、今後もモニタリングを行い、南部の拡大状況とともに北部の推移を注視する必要がある。

生息状況調査における確認状況の経年推移を表 4-6 及び図 4-4 に示す。

表 4-6 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（玉東町）

地区	年度	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
玉東町	令和3年度※1	10	4	1708	1672	0.9789
		9	3	1505	45	0.0299
	令和4年度	11	10	1527	103	0.0675
	令和5年度※2	11	8	1640	1094	0.6671
		11	8	1640	295	0.1799
	令和6年度※2	11	6	1740	184	0.1057
		11	6	1740	30	0.0172

※1 令和3年度の下段はアライグマがネコのエサに誘引され、極めて高頻度で撮影された地点を除外した結果を示す。

※2 令和5年度、6年度の下段は箱わな捕獲時の撮影記録を除外した集計値を示す。

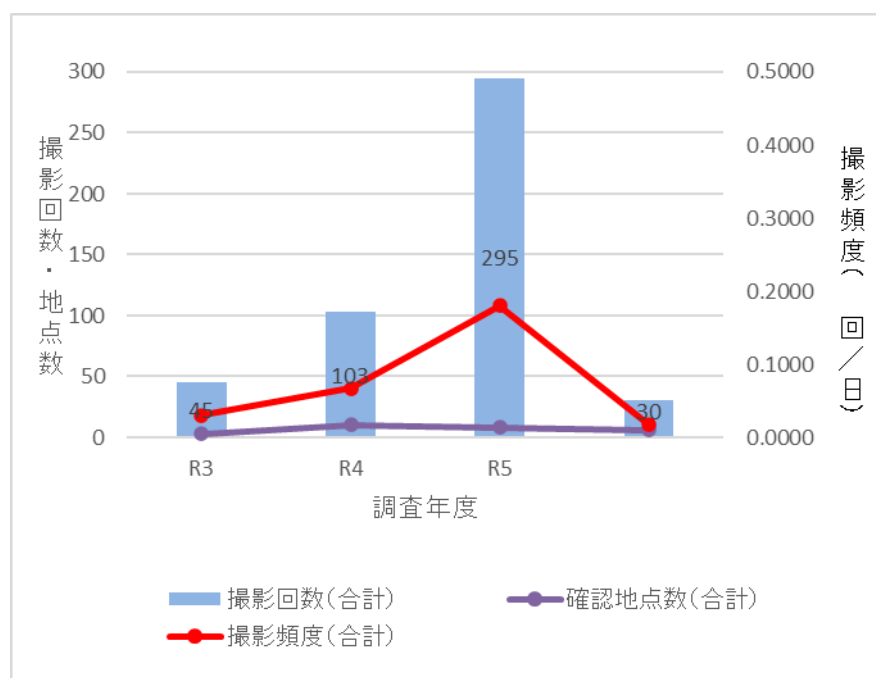


図 4-4 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（玉東町）

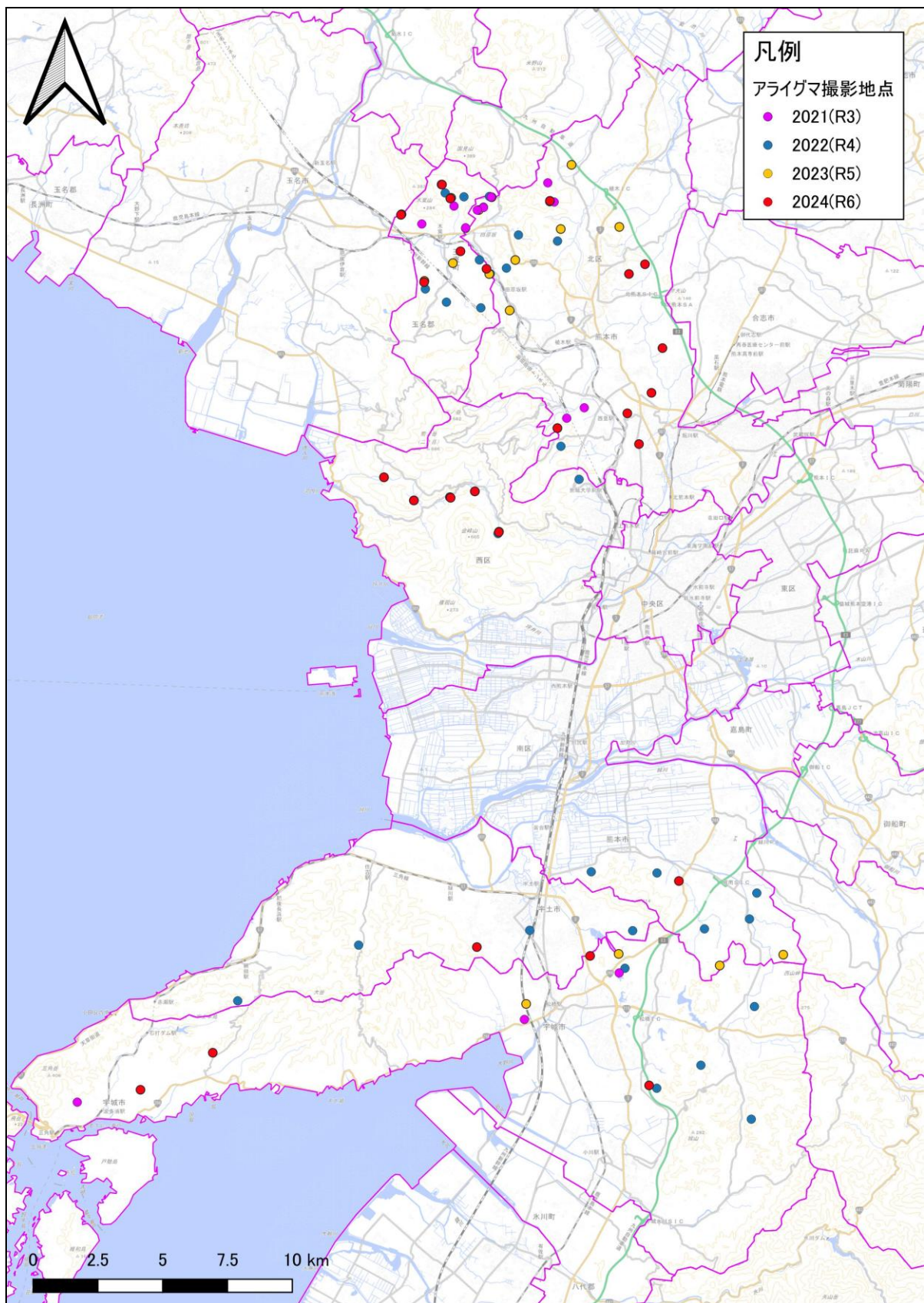


図 4-5 令和 3～令和 6 年度のアライグマ撮影地点

4.2 今後のアライグマ対策

(1) モニタリング調査の継続

今年度は熊本市、宇城市、宇土市、玉東町の3市1町すべてでアライグマが確認され、これまでの複数年でのモニタリングによって、各市町でのアライグマの生息状況が少しずつ明らかとなっている。今年度、熊本市では北区、西区で急激な増加傾向が見られ、他の市町についても今後同様の事象が起こる可能性がある。今後もモニタリングを行い、状況変化を捉えていくことが望まれる。

また、熊本県内では、履行場所である3市1町以外でもアライグマの増加傾向がみられる。隣接市町村を中心に情報共有やさらなる広域連携も求められる。

(2) 効率的捕獲

3市1町すべてでアライグマの生息が確認され、今後はさらに分布域の拡大、個体数の増加が進む可能性がある。それを抑制するためには、モニタリング調査だけではなく、効果的な捕獲を並行して行うことが必要となる。これまでのモニタリング調査で得られた情報を再度整理し、捕獲地点の選定など、効果的な捕獲に向けた検討を行うことが望まれる。

モニタリング調査において、ねぐらや餌場として利用するような行動圏の中心域を把握することができれば、その場所において集中的に捕獲を行うことで効果的に減らすことにつながる。また、一般的に冬季は行動活性が低下し、捕獲に向かないと言われているが、熊本県内においては、これまでのモニタリング調査においても冬季の撮影も多く、繁殖前に活発に動いていると考えられる。繁殖期に入る冬季での捕獲は最も効果的であるため、冬季から春季にかけても捕獲圧をかけることが望ましい。

また、今後は生息範囲の拡大や個体数の増加に伴い、箱わなの稼働数を増やすなど、捕獲を強化する必要がある。わなの作動を知らせるセンサーを導入することで見回りにかかる労力を下げるなど、継続的に捕獲を行うことができる体制を構築することが望ましい。

(3) 普及啓発活動の実施

住民からのアライグマの目撃情報や、農作物被害等に関する情報は、生息状況の把握において、モニタリング調査を補完する重要な情報であるといえる。

しかし、アライグマは未だにアナグマ等の他の動物との混同事例がみられるほか、聞き込みではアライグマはいないと認識している住民も多い。今年度、熊本市や宇土市では住宅地でも確認されている。住宅地などではプライバシー侵害や盗難などの可能性があり、カメラによる調査が難しいことがある。こうした場所では、市民による目撃情報が非常に有効となることから、正確な情報収集に向け、さらなる情報発信による普及啓発が重要である。

5. 打合せ及び報告

打合せは着手時、中間時、取りまとめ時の計3回実施した。打合せ一覧を表5-1に示し、記録簿は資料編に示す。

表 5-1 打合せ一覧

実施日	打合せ内容	備考
令和6年6月12日	業務の進め方について	第1回打合せ（着手時）
令和6年11月26日	業務進捗の報告	第2回打合せ（中間時）
令和7年3月24日	業務成果の報告	第3回打合せ（取りまとめ時）